

TMDU

概要 | OVERVIEW 2010

国立大学法人
東京医科歯科大学
TOKYO MEDICAL AND DENTAL UNIVERSITY



知と癒しの
匠を
創造する



TMDU
OVERVIEW 2010

編集発行:
国立大学法人 東京医科歯科大学広報室
〒113-8510 東京都文京区湯島 1-5-45
電話:03-5803-5011
ホームページ:<http://www.tmd.ac.jp/>

ミッション Mission

知と癒しの匠を創造する

Cultivating Professionals with Knowledge and Humanity

患者や家族の方から「ありがとう」のひと言がいただける。

「あなたでよかった」と笑顔を投げかけていただける。

そのために、高度な医療の知識と卓越した技術を身につけます。

ひとの苦しみや悲しみを受けとめ、思いやれるところと倫理観を持ちます。

本学に学び、研究・診療に携わるすべての人が、

「知と癒しの匠」への道を歩みつづけられるよう支えます。

これが、東京医科歯科大学の掲げるミッションです。

教育理念

幅広い教養と豊かな感性を備えた人間性の養成

自己問題提起、自己問題解決型の創造的人間の養成

国際性豊かな医療人の養成

東京医科歯科大学 シンボルマーク

この図は本学のシンボルマークであり、
これには、次のような意味が含まれて
おります。



1. 東京医科歯科大学の発展の歴史と、その将来へのあるべき姿を、本学の所在地、湯島にちなんで、湯島天神一学問の神一の象徴である梅の花になぞらえて図案化したものです。

2. 花の芯に当たる中央の輪は、旧東京高等歯科医学校の校章であり、これを基盤として現在の本学があることを示しております。

3. 5枚の花弁は、医学部、歯学部、教養部、生体材料工学研究所、難治疾患研究所の5部局を表し、それらが、がっちりスクラムを組んで花を咲かせているという本学の姿を表現しています。

4. 5枚の花弁は、将来に向かって無限に躍進するという意図を表すために花弁の外側を肉厚にし、これによって躍動的な感覚を盛り込んでおります。

東京医科歯科大学 新ロゴマーク



本学の欧文表記 TOKYO MEDICAL AND DENTAL UNIVERSITY
の頭文字をとった TMDU を図案化し、これを本学のロゴマークとします。
これには次のような意味が含まれております。

1. 「M」と「D」をつなげることで、医学と歯学の融合を表現しています。
2. 太いラインは「自信」や「強さ」を表し、本学の伝統を表現しています。



国立大学法人
東京医科歯科大学

学長からのメッセージ 02

沿革・組織

沿革／歴代校長及び学長 04
運営組織等 06
役職員等 08
機構図 10

大学院・学部等

大学院 医歯学総合研究科 12
大学院 保健衛生学研究科 14
大学院 生命情報科学教育部、疾患生命科学研究部 15
学部 医学部 15
学部 歯学部 16
教養部 17
生体材料工学研究所 17
難治疾患研究所 18
図書館情報メディア機構 19
全国共同利用施設 学内共同教育研究施設、保健管理センター、
スチューデントセンター、知的財産本部 20
附属病院 21

特色ある教育・研究

グローバルCOEプログラム 24
大学教育充実のための戦略的連携支援プログラム（総合的連携型） 25
大学教育・学生支援推進事業【テーマA】大学教育推進プログラム 25
看護職キャリアシステム構築プラン 26
組織的な大学院教育改革推進プログラム 26
がんプロフェッショナル養成プラン 27
大学病院連携型高度医療人養成推進事業 27
科学技術振興調整費〔国際共同研究の推進
（先進技術を基盤とした地域共通課題解決型共同研究）〕 28
地球規模課題対応国際科学技術協力事業 29
若手研究者交流支援事業－東アジア首脳会議参加国からの招へい－ 30
日中韓フォーサイト事業 30
独創的シーズ展開事業 大学発ベンチャー創出推進 31
イノベーションシステム整備事業（大学等産学官連携自立化促進プログラム） 31
特別経費 32
特色ある教育・研究一覧 33

国際交流

ガーナ拠点形成、チリ国家プロジェクト、タイとの国際交流 34
パートナーズ・ハーバード・メディカル・インターナショナルとの医学教育連携 36
インベリアルカレッジとの交換留学プログラム 37
国際交流協定校／学部等間協定 38
外国人留学生在籍者数 39

統計

職員数 40
学生数（大学院） 41
学生数（学部） 42
学位授与数 43
附属教育施設 43
平成22年度科学研究費補助金採択状況 44
受託研究費等受入状況 44
平成22年度厚生労働科学研究費補助金採択状況 44
寄附講座・寄附研究部門一覧 45
平成22年度収入・支出予算 45

キャンパス概要

土地・建物及び所在地、関係施設位置図 48

学長からのメッセージ

国立大学法人 東京医科歯科大学
学長 | 大山喬史

Message from the President

「知と癒しの匠を創造する」

本学は、医歯学総合研究科、保健衛生学研究科、生命情報科学教育部・疾患生命科学研究所の3つの大学院組織、医学部医学科、医学部保健衛生学科、歯学部歯学科、歯学部口腔保健学科の4つの学部学科組織と教養教育を担当する教養部、そして生体材料工学研究所、難治疾患研究所の2つの研究所と医学部附属病院、歯学部附属病院、歯学部附属歯科技工士学校を擁する日本唯一の医療系総合大学院大学です。

本学が学生諸君に求める人間像は、あらゆる事象に好奇心を持ち、その多様性を尊重しつつも変化を求め、未知なるものへ

のチャレンジ精神を備え、真理を探究する努力を惜しまぬ科学者像であります。しかも、その「科学」は「人が生きる」上で役立つものでなければなりません。それは、「医学」を学び、「医学・医療」に携わる人に求められる姿そのものです。

やがては、それぞれの将来において、それまでの苦労を超えた、患者さんの笑顔、医療人としての無上の喜びが待ち受けております。

そこで、「知と癒しの匠を創造する」を本学のミッションにし、本学では3つの教育理念を掲げております。

1 幅広い教養と豊かな感性を備えた人間の養成

論語に『君子は、器ならず』とあります。ここで言う「器」とは特定の目的に使用される道具です。君子とは、決して単なる専門家であってはいけないということです。「君子」とは学者、そして聖人を意味しますが、あらゆる多様性に対応できる幅広い知識と豊かな感性が必要だと言っております。医療人こそ、ここで言う「器」であってはならないのです。

『一言にして以て身を終うるまでこれを行うべき者ありや』『それ恕か、己の欲せざる所を人に施すこと勿かれ』

孔子の弟子が、「生涯守るもので一つを挙げるとしたら、それは何でしょうか」と尋ねたところ、「それは恕。自分にして欲しくないことは、人にしてはならない」と答えております。

さらに弟子の曾子は『夫子の道は、忠恕のみ』、老師の人生は忠(まごころ)と恕(思いやり)、それに尽きますと言いつけております。「忠」とは、自分の良心に忠実なことを意味しますが、それだけでは他人に通用しない。そこで「恕」(思いやり)すなわち他人の身になって考える知的な同情を併せ持つことが大切だと答えています。

この「知的」というところが肝心要で、単なる優しさ、

憐みではなく、幅広い教養に根づいた同情でなければなりません。「忠」と「恕」とが一体となっているのが論語の根本原理「仁」なのです。まさに医療人たる心得を述べていると言えます。

私たち、医療の現場では、当然最善を尽くします。そこではある達成感があります。しかし、それだけでは自己満足にしか過ぎません。「最善を尽くしました」では済まされないのです。医療現場での達成感とは患者さん、ご家族の方々から感謝のこぼれがあって、はじめて真の達成感が得られるものです。とあって、それを求めるのではなく、患者さんが以前の日常生活にスムーズに戻ることを願っての話です。

医学に携わるものは、「死とは」「老いるとは」というような、従来なら哲学の領域だったテーマにも関心を持ち、造詣を深めておき、自らの哲学的思考を絶えず磨き続ける努力をしなければなりません。というのは、「緩和医療」、「再生医療」や「遺伝子治療」が注目されてきた最近の医療現場では、様々な場面で倫理上の決断を否応なく迫られることになるからです。

教養教育を通じて、幅広い知識や思考法などを獲得し、人間としてのあり方や生き方への深い洞察力を養う必要があります。

2 自己問題提起、自己問題解決型の創造的人間の養成

最近まで、詰め込み教育を蔑視する傾向がありました。しかし、私たち医療人に限っては別です。先ず十分な知識、技術を身につけて、初めての確な問題発見ができ、そして適切な問題解決が可能となります。一流の医療従事者、リーダーになるには、「知」と「技」に「ゆとり」があってはじめて可能となります。同時に、そのためには努力、忍耐が必要で、それに負けないだけの「健康と体力」にも「ゆとり」が必要です。

『学びて思わざれば則(すなわ)ち罔(くら)く、思い学ざれば則ち殆(うたが)う』と論語にあります。これは、カントの批判哲学『知識は経験と共にはじまるが、思惟がなければ盲目となる』を連想させる孔子の発想です。これは、知識や情報を沢山得て、どれだ

け習っていても自分で考えてみないことには、自分の人生でどう生かせばよいのか分からない。逆に、先人の知識を無視し、個人の思案だけに頼ると独善的になり過ぎ、これもまた生きた智慧には繋がらないということです。

学生諸君には、教養科目、専門科目のいずれにおいても、決して蔑ろにすることなく自ら学んで、自ら問いかける学問をしていただきたい。そして自ら答えを導き出す能力を自ら育む習慣を身につけてもらうことを期待しております。そのためには、大学は教えてくれるところではなく、勉強する方法を教えてください。そこでは自ら学び、自律するための場であることを認識して欲しいと思います。

本学は、臨床面でも研究面でも国際舞台でリーダーシップがとれる医療人の養成を目標にしております。日本人としての幅広い教養を身につけ、日本の精神文化と豊かな感性を備えて、はじめて国際性豊かな人材が育まれるものです。

医学部医学科ではハーバード大学での臨床実習を行っており、今まで40名ほどの学生が体験しており、教育現場でも研究領域でも高い評価を得ており、高いモチベーションが習得できたものと思っております。歯学部においてもそのような教育カリキュラムの導入について検討を開始しております。これは、教育を外

国に委託するというのではなく、また単なる物まねでもありません。本学では「学ぶ」から脱して本学独自の教育システムを構築してきました。平成23年度からは「医歯学融合教育」のカリキュラムを開始することになっております。

また、22年度には数名の学生が本学の海外研究拠点に短期留学することにもなっております。

それとは別に各学部学科の成績・就学態度の優秀者(9名)には数ヶ月の海外研修の機会が与えられます。すべての学生諸君に頑張ってもらって、是非その機会を掴んでもらいたいと思っております。

3 国際性豊かな医療人の養成

自分自身を磨こう

『学んで時に之を習う、亦説(よろこ)ばしからずや。有朋(とも)、遠きより方(なら)び来る、亦説(よろこ)ばしからずや。人知らずして慍(い)かず、亦君子ならずや』

書物や師匠について学び、そして反復練習実践していくと自ずとわが身に体得されていきます。自分で出来ることを知る、あるいは疑問を抱き、そこに新たな真実を見出すこともあります。それは何と楽しいことか。学問とはそういうものです。そうやって修養・研鑽を積むと共感者、同志が遠いところからでも慕い尋ねてきてくれます。これは感動するほどにうれしいことです。そこで議論し、真実を確信し、時には全く新しい真実に気付くかもしれません。これは何と楽しいことか。そこまで来てはじめて『人知らずして慍(い)かず』という境地に到達します。

世の中の人が自分の修得したものを認めてくれなくとも、これを怨まず、咎めず、平然として世に処することができるであろうと締め括っております。これこそ立派な研究者、医療人ではないでしょうか。他人がどう思おうが、自分の信念に従い、すべきことを遣り通すことの大切さを説いています。

大山喬史
Ohyama Takashi
学長



参考文献：『論語』貝塚茂樹 訳注／中公文庫

沿革

Brief History

昭和3年10月12日 Oct. 12, 1928	東京高等歯科医学校を設置	昭和47年4月 Apr. 1972	医学部附属臨床検査技師学校を設置	平成12年4月 Apr. 2000	大学院医歯学総合研究科(7専攻)を設置 大学院医学系研究科の学生募集を停止 大学院医学系研究科(保健衛生学専攻)を 大学院保健衛生学研究科に改称 留学生センターを設置
昭和19年4月 Apr. 1944	東京医学歯学専門学校となり医学科を設置	昭和48年9月 Sep. 1973	難治疾患研究所を設置	平成13年4月 Apr. 2001	大学院医歯学総合研究科医歯科学専攻 (修士課程)を設置 大学院保健衛生学研究科(2専攻)を設置
昭和21年8月 Aug. 1946	東京医科歯科大学(旧制)設置 附属図書館設置	平成元年4月 Apr. 1989	医学部保健衛生学科を設置 (看護学専攻・検査技術学専攻)	平成14年4月 Apr. 2002	大学院医歯学総合研究科医歯科学専攻 (修士課程)を設置 歯医学教育システム研究センターを設置
昭和24年6月 Jun. 1949	医学部、歯学部附属病院が医学部、 歯学部附属病院とそれぞれ改称	平成元年5月 May. 1989	機器分析室を設置(H8.5廃止)	平成15年4月 Apr. 2003	大学院生命情報科学教育部(2専攻)を 設置 大学院疾患生命科学研究部を設置 先端研究支援センターを設置
昭和26年4月 Apr. 1951	国立学校設置法により東京医科歯科大学 (新制)設置 医学部医学科、歯学部歯学科を設置 歯科材料研究所を附置 医学部附属厚生女子部を医学部附属看護 学校と改称 歯学部附属歯科衛生士学校を設置	平成3年3月 Mar. 1991	医学部附属看護学校及び臨床検査技師学 校を廃止	平成15年9月 Sep. 2003	知的財産本部を設置
昭和27年4月 Apr. 1952	歯学部附属歯科技工士学校を設置	平成4年4月 Apr. 1992	大学院歯学研究科生体機能制御歯科学専 攻(博士)を設置	平成16年4月 Apr. 2004	国立大学法人 東京医科歯科大学設置 歯学部口腔保健学科を設置
昭和30年4月 Apr. 1955	大学院(医学研究科・歯学研究科)を設置 医学及び歯学進学課程を千葉大学文理学 部内に設置(S33.3廃止)	平成5年4月 Apr. 1993	大学院医学研究科を大学院医学系研究科 に改称 大学院医学系研究科(保健衛生学専攻) を設置 疾患遺伝子実験センターを設置	平成17年3月 Mar. 2005	歯学部附属歯科衛生士学校を廃止
昭和33年4月 Apr. 1958	医学及び歯学進学課程(国府台分校)を設置	平成7年1月 Jan. 1995	情報処理センターを設置	平成19年4月 Apr. 2007	脳統合機能研究センターを設置
昭和37年4月 Apr. 1962	医学部附属衛生検査技師学校を設置 (S48.3廃止)	平成7年4月 Apr. 1995	大学院医学系研究科生体感染制御医科学 系専攻(博士)を設置 大学院医学系研究科保健衛生学専攻(博士) を設置	平成21年4月 Apr. 2009	国際交流センターを設置
昭和40年4月 Apr. 1965	教養部を設置	平成8年5月 May. 1996	機器分析センターを設置	平成21年12月 Dec. 2009	スチューデントセンターを設置
昭和41年4月 Apr. 1966	歯科材料研究所を医用器材研究所に改称	平成10年4月 Apr. 1998	アイソトープ総合センターを設置	平成22年4月 Apr. 2010	図書館情報メディア機構を設置 医歯学研究支援センターを設置 実験動物センターを設置 医歯学融合教育支援センターを設置 生命倫理研究センターを常設センターに変更
昭和45年4月 Apr. 1970	保健管理センターを設置	平成11年4月 Apr. 1999	大学院医歯学総合研究科(3専攻)を設置 医用器材研究所を生体材料工学研究所に 改組		

歴代校長及び学長

東京高等歯科医学校長 Tokyo National School of Dentistry	島峰 徹 Shimamine Toru	昭和3年10月13日～昭和19年3月31日 Oct.13,1928 - Mar.31,1944
東京医学歯学専門学校長 Tokyo Medical and Dental College	島峰 徹 Shimamine Toru	昭和19年4月1日～昭和20年2月9日 Apr.1,1944 - Feb.9,1945
東京医学歯学専門学校長事務取扱 Tokyo Medical and Dental College	長尾 優 Nagao Masaru	昭和20年2月10日～昭和20年2月19日 Feb.10,1945 - Feb.19,1945
東京医学歯学専門学校長 Tokyo Medical and Dental College	長尾 優 Nagao Masaru	昭和20年2月20日～昭和25年3月31日 Feb.20,1945 - Mar.31,1950
東京医科歯科大学長事務取扱 Tokyo Medical and Dental University	長尾 優 Nagao Masaru	昭和21年8月27日～昭和21年10月4日 Aug.27,1946 - Oct.4,1946
東京医科歯科大学長(旧制) Tokyo Medical and Dental University (The Former System)	長尾 優 Nagao Masaru	昭和21年10月5日～昭和26年3月31日 Oct.5,1946 - Mar.31,1951
東京医科歯科大学長(新制) Tokyo Medical and Dental University (The New System)	長尾 優 Nagao Masaru	昭和26年4月1日～昭和36年6月30日 Apr.1,1951 - Jun.30,1961
岡田 正弘 Okada Masahiro	昭和36年7月1日～昭和43年2月29日 Jul.1,1961 - Feb.29,1968	
東京医科歯科大学長事務取扱 Tokyo Medical and Dental University	太田 敬三 Ota Keizo	昭和43年3月1日～昭和43年3月15日 Mar.1,1968 - Mar.15,1968
東京医科歯科大学長 Tokyo Medical and Dental University	太田 敬三 Ota Keizo	昭和43年3月16日～昭和44年10月8日 Mar.16,1968 - Oct.8,1969
東京医科歯科大学長事務取扱 Tokyo Medical and Dental University	清水 文彦 Shimizu Fumihiko	昭和44年10月9日～昭和45年9月17日 Oct.9,1969 - Sep.17,1970
東京医科歯科大学長 Tokyo Medical and Dental University	清水 文彦 Shimizu Fumihiko	昭和45年9月18日～昭和49年9月17日 Sep.18,1970 - Sep.17,1974
勝木 保次 Katsuki Yasuji	昭和49年9月18日～昭和52年7月31日 Sep.18,1974 - Jul.31,1977	
吉田 久 Yoshida Hisashi	昭和52年8月1日～昭和60年7月31日 Aug.1,1977 - Jul.31,1985	
加納 六郎 Kano Rokuro	昭和60年8月1日～平成3年7月31日 Aug.1,1985 - Jul.31,1991	
山本 肇 Yamamoto Hajime	平成3年8月1日～平成7年7月31日 Aug.1,1991 - Jul.31,1995	
鈴木 章夫 Suzuki Akio	平成7年8月1日～平成16年3月31日 Aug.1,1995 - Mar.31,2004	
国立大学法人東京医科歯科大学長 National University Corporation Tokyo Medical and Dental University	鈴木 章夫 Suzuki Akio	平成16年4月1日～平成20年3月31日 Apr.1,2004 - Mar.31,2008
大山 喬史 Ohyama Takashi	平成20年4月1日～ Apr.1,2008	

運営組織等

Management Structure

体制図

Board of Governors



役員会

Board of Trustees

重要事項の議決 Vote on important items

学長 President 大山 喬史 Ohyama Takashi	理事 (企画・国際交流担当) Trustee (Planning/International Exchange) 佐々木 成 Sasaki Sei	理事 (総務・財務・施設担当) Trustee (General Affairs/Finance/Facilities) 谷本 雅男 Tanimoto Masao	理事 (教育担当) Trustee (Education) 須田 英明 Suda Hideaki	理事 (研究担当) Trustee (Research) 森田 育男 Morita Ikuo	理事 (医療担当) Trustee (Medical and Dental Treatments) 吉澤 靖之 Yoshizawa Yasuyuki
--	--	--	---	---	---

経営協議会

Administrative Council

経営に関する重要事項を審議 Deliberate on management issues

【学内委員】 Internal Committee

学長 President 大山 喬史 Ohyama Takashi	理事 (企画・国際交流担当) Trustee (Planning/International Exchange) 佐々木 成 Sasaki Sei	理事 (総務・財務・施設担当) Trustee (General Affairs/Finance/Facilities) 谷本 雅男 Tanimoto Masao	理事 (教育担当) Trustee (Education) 須田 英明 Suda Hideaki	理事 (研究担当) Trustee (Research) 森田 育男 Morita Ikuo	理事 (医療担当) Trustee (Medical and Dental Treatments) 吉澤 靖之 Yoshizawa Yasuyuki
--	--	--	---	---	---

【学外委員】 External Committee

クオインタムリープ株式会社代表取締役 Chief Executive Officer, Quantum Leaps Corporation クオインタムリープ株式会社代表取締役 Chief Executive Officer, Quantum Leaps Corporation	出井 伸之 Idei Nobuyuki	財団法人放送大学教育振興会会長 Chairperson, Society for the Promotion of the University of the Air 財団法人放送大学教育振興会会長 Chairperson, Society for the Promotion of the University of the Air	井上 孝美 Inoue Takayoshi	文京学院大学保健医療技術学部長、本学名誉教授 Dean, Faculty of Health Science Technology Bunkyo Gakuin University, Professors Emeritus 文京学院大学保健医療技術学部長、本学名誉教授 Dean, Faculty of Health Science Technology Bunkyo Gakuin University, Professors Emeritus	小池 盛雄 Koike Morio	あいおい損害保険会社特別顧問 Aioi Insurance Co., Ltd, Special Adviser あいおい損害保険会社特別顧問 Aioi Insurance Co., Ltd, Special Adviser	瀬下 明 Seshimo Akira	高橋矯正歯科診療所理事長、本学名誉教授 Director, Takahashi Orthodontic Office, Professors Emeritus 高橋矯正歯科診療所理事長、本学名誉教授 Director, Takahashi Orthodontic Office, Professors Emeritus	三浦 不二夫 Miura Fujio	読売新聞グループ本社 代表取締役会長・主筆 Chairman, Board of Trustees, Editor-in-Chief, The Yomiuri Shinbun Holdings 読売新聞グループ本社 代表取締役会長・主筆 Chairman, Board of Trustees, Editor-in-Chief, The Yomiuri Shinbun Holdings	渡邊 恒雄 Watanabe Tsuneo
--	------------------------	--	--------------------------	--	----------------------	--	-----------------------	--	-----------------------	--	--------------------------

教育研究評議会

Education and Research Council

教育研究に関する重要事項を審議 Deliberate on educational and research issues

学長 President 大山 喬史 Ohyama Takashi	理事 (企画・国際交流担当) Trustee (Planning/International Exchange) 佐々木 成 Sasaki Sei	理事 (総務・財務・施設担当) Trustee (General Affairs/Finance/Facilities) 谷本 雅男 Tanimoto Masao	理事 (教育担当) Trustee (Education) 須田 英明 Suda Hideaki	理事 (研究担当) Trustee (Research) 森田 育男 Morita Ikuo	理事 (医療担当) Trustee (Medical and Dental Treatments) 吉澤 靖之 Yoshizawa Yasuyuki	大学院医歯学総合研究科長、医学部長 Dean, Graduate School of Medical and Dental Sciences Dean, Faculty of Medicine 大学院医歯学総合研究科長、医学部長 Dean, Graduate School of Medical and Dental Sciences Dean, Faculty of Medicine	大野 喜久郎 Ohno Kikuo	大学院保健衛生学研究科長 Dean, Graduate School of Health Care Sciences 大学院保健衛生学研究科長 Dean, Graduate School of Health Care Sciences	佐藤 健次 Sato Kenji	大学院生命情報科学教育部長 Dean, Biomedical Science Ph D Program 大学院生命情報科学教育部長 Dean, Biomedical Science Ph D Program	影近 弘之 Kagechika Hiroyuki	大学院疾患生命科学研究部長 Dean, Graduate School of Biomedical Science 大学院疾患生命科学研究部長 Dean, Graduate School of Biomedical Science	影近 弘之 Kagechika Hiroyuki	歯学部 Dean, Faculty of Dentistry 歯学部 Dean, Faculty of Dentistry	田上 順次 Tagami Juniji	教養部長 Dean, College of Liberal Arts and Sciences 教養部長 Dean, College of Liberal Arts and Sciences	千葉 司 Chiba Tsukasa	生体材料工学研究所長 Director, Institute of Biomaterials and Bioengineering 生体材料工学研究所長 Director, Institute of Biomaterials and Bioengineering	山下 仁大 Yamashita Kimihiko	難治疾患研究所長 Director, Medical Research Institute 難治疾患研究所長 Director, Medical Research Institute	北嶋 繁孝 Kitajima Shigetaka	図書館情報メディア機構長 Director General, Institute for Library and Media Information Technology 図書館情報メディア機構長 Director General, Institute for Library and Media Information Technology	木下 淳博 Kinoshita Atsuhiko	医学部附属病院長 Director, University Hospital of Medicine 医学部附属病院長 Director, University Hospital of Medicine	坂本 徹 Sakamoto Tohru	歯学部附属病院長 Director, University Hospital of Dentistry 歯学部附属病院長 Director, University Hospital of Dentistry	嶋田 昌彦 Shimada Masahiko	大学院医歯学総合研究科教授 (医学系) Professor, Graduate School of Medical and Dental Sciences (Medical Division) 大学院医歯学総合研究科教授 (医学系) Professor, Graduate School of Medical and Dental Sciences (Medical Division)	湯浅 保仁 Yuasa Yasuhiro	大学院医歯学総合研究科教授 (歯学系) Professor, Graduate School of Medical and Dental Sciences (Dental Division) 大学院医歯学総合研究科教授 (歯学系) Professor, Graduate School of Medical and Dental Sciences (Dental Division)	山口 朗 Yamaguchi Akira	大学院保健衛生学研究科教授 Professor, Graduate School of Health Care Sciences 大学院保健衛生学研究科教授 Professor, Graduate School of Health Care Sciences	井上 智子 Inoue Tomoko	教養部教授 Professor, College of Liberal Arts and Sciences 教養部教授 Professor, College of Liberal Arts and Sciences	清田 正夫 Kiyota Masao	生体材料工学研究所教授 Professor, Institute of Biomaterials and Bioengineering 生体材料工学研究所教授 Professor, Institute of Biomaterials and Bioengineering	三林 浩二 Mitsubayashi Koji	難治疾患研究所教授 Professor, Medical Research Institute 難治疾患研究所教授 Professor, Medical Research Institute	石野 史敏 Ishino Fumitoshi
--	--	--	---	---	---	--	----------------------	--	---------------------	--	-----------------------------	--	-----------------------------	--	------------------------	--	-----------------------	--	-----------------------------	--	-----------------------------	--	-----------------------------	--	------------------------	--	---------------------------	--	-------------------------	--	-------------------------	--	-----------------------	--	-----------------------	--	----------------------------	--	---------------------------

役員等

Administration Officers

学長 President

大山 喬史
Ohyama Takashi

副学長 Vice-Presidents

総括 Overall Management	大野 喜久郎 Ohno Kikuo
入試 Entrance Exam	喜多村 健 Kitamura Ken
評価 Evaluation	木村 彰方 Kimura Akinori
情報管理 Information management	高瀬 浩造 Takase Kozo
苦情相談・学生支援 Complaint Consultation and Student support	谷口 尚 Taniguchi Hisashi
広報 Public Relations	高谷 節雄 Takatani Setsuo
産学連携 Industrial Collaboration	宮坂 信之 Miyasaka Nobuyuki
メディア教育 Media Education	木下 淳博 Kinoshita Atsuhiko
	佐々木 成 Sasaki Sei
	須田 英明 Suda Hideaki
	森田 育男 Morita Ikuo
	吉澤 靖之 Yoshizawa Yasuyuki

監事 Auditors

小林 徹
Kobayashi Toru

高橋 茂樹
Takahashi Shigeki

監査室 Inspection Office

監査室長
Head, Inspection Office

須田 英明
Suda Hideaki

広報室 Public Relations Office

広報室長
Head, Public Relations Office

高谷 節雄
Takatani Setsuo

評価情報室 University Evaluation Office

評価情報室長
Head, University Evaluation Office

木村 彰方
Kimura Akinori

理事 Trustees

企画・国際交流担当 Planning/International Exchange	佐々木 成 Sasaki Sei
教育担当 Education	須田 英明 Suda Hideaki
研究担当 Research	森田 育男 Morita Ikuo
医療担当 Medical and Dental Treatments	吉澤 靖之 Yoshizawa Yasuyuki
総務・財務・施設担当 General Affairs/Finance/Facilities	谷本 雅男 Tanimoto Masao

副理事 Associate Managing Trustees

企画・国際交流担当 Planning/International Exchange	烏山 一 Karasuyama Hajime
教育担当 Education	千葉 司 Chiba Tsukasa
研究担当 Research	北嶋 繁孝 Kitajima Shigetaka
研究担当 Research	水澤 英洋 Mizusawa Hidehiro
医療担当 Medical Treatment	坂本 徹 Sakamoto Tohru
医療担当 Dental Treatment	嶋田 昌彦 Shimada Masahiko

学長特別補佐 Executive Advisers to the President

企画・国際交流担当 Planning/International Exchange	川口 陽子 Kawaguchi Yoko
教育担当 Education	田中 雄二郎 Tanaka Yujiro
教育担当 Education	小村 健 Omura ken
研究担当 Research	森山 啓司 Moriyama Keiji
入試 Entrance Exam	東 みゆき Azuma Miyuki
入試 Entrance Exam	森尾 友宏 Morio Tomohiro
評価 Evaluation	水谷 修紀 Mizutani Shuki
評価 Evaluation	柳下 正樹 Yanagishita Masaki
苦情相談・学生支援 Complaint Consultation and Student support	松浦 雅人 Matsuura Masato
苦情相談・学生支援 Complaint Consultation and Student support	江石 義信 Eishi Yoshinobu
広報 Public Relations	高久田 和夫 Takakuda Kazuo
産学連携 Industrial Collaboration	水島 昇 Mizushima Noboru

大学院 Graduate School

医歯学総合研究科長 Dean, Graduate School of Medical and Dental Sciences	大野 喜久郎 Ohno Kikuo
医歯学総合研究科 副研究科長 Vice Dean, Graduate School of Medical and Dental Sciences	田上 順次 Tagami Junji
保健衛生学研究科長 Dean, Graduate School of Health Care Sciences	佐藤 健次 Sato Kenji
生命情報科学教育部長 Dean, Biomedical Science Ph D program	影近 弘之 Kagechika Hiroyuki
疾患生命科学教育部長 Dean, Graduate School of Biomedical Science	影近 弘之 Kagechika Hiroyuki

医学部 Faculty of Medicine

医学部長 Dean, Faculty of Medicine	大野 喜久郎 Ohno Kikuo
医学科長 Director, School of Medicine	四宮 謙一 Shinomiya Kenichi
保健衛生学科長 Director, School of Health Care Sciences	井上 智子 Inoue Tomoko
附属病院長 Director, University Hospital of Medicine	坂本 徹 Sakamoto Tohru

歯学部 Faculty of Dentistry

歯学部長 Dean, Faculty of Dentistry	田上 順次 Tagami Junji
歯学科長 Director, School of Dentistry	大谷 啓一 Ohya Keiichi
口腔保健学科長 Director, School of Oral Health Care Sciences	吉増 秀實 Yoshimasu Hidemi
附属病院長 Director, University Hospital of Dentistry	嶋田 昌彦 Shimada Masahiko
歯科技工士学校長 Principal, School for Dental Technologists	三浦 宏之 Miura Hiroyuki
口腔保健教育センター長 Director, Center for Education and Research in Oral Health Care	高木 裕三 Takagi Yuzo

教養部 College of Liberal Arts and Sciences

教養部長
Dean, College of Liberal Arts and Sciences

千葉 司
Chiba Tsukasa

生体材料工学研究所 Institute of Biomaterials and Bioengineering

研究所長
Director

山下 仁大
Yamashita Kimihiro

難治疾患研究所 Medical Research Institute

研究所長
Director

北嶋 繁孝
Kitajima Shigetaka

図書館情報メディア機構 Institute for Library and Media Information Technology

図書館情報メディア機構長 Director General, Institute for Library and Media Information Technology	木下 淳博 Kinoshita Atsuhiko
メディア教育推進部門長 Director, Media Education Division	木下 淳博 Kinoshita Atsuhiko
図書館長 Director, Library	天笠 光雄 Amagasa Teruo
国府台分館長 Director, Kounodai Branch Library	板橋 作美 Itabashi Sakumi
情報基盤部門長 Director, Information Technology Division	高瀬 浩造 Takase Kozo

医歯学教育システム 研究センター Center for Education Research in Medicine and Dentistry

センター長
Director

奈良 信雄
Nara Nobuo

医歯学研究支援センター Research Center for Medical and Dental Sciences

センター長
Director

中村 正孝
Nakamura Masataka

実験動物センター Center for Experimental Animal

センター長
Director

金井 正美
Kanai Masami

国際交流センター International Exchange Center

センター長
Director

森尾 郁子
Morio Ikuo

生命倫理研究センター Life Science and Bioethics Research Center

センター長
Director

吉田 雅幸
Yoshida Masayuki

医歯学融合教育支援センター Center for Interprofessional Education

センター長
Director

田中 雄二郎
Tanaka Yujiro

保健管理センター Health Service Center

センター長
Director

三宅 修司
Miyake Shuji

スチューデントセンター Student Center

センター長
Director

谷口 尚
Taniguchi Hisashi

知的財産本部 Intellectual Property Division

知的財産本部長
Director, Intellectual Property Division

宮坂 信之
Miyasaka Nobuyuki

脳統合機能研究センター Center for Brain Integration Research

センター長
Director

水澤 英洋
Mizusawa Hidehiro

硬組織疾患ゲノムセンター Hard Tissue Genome Research Center *硬組織疾患プロジェクト実施期間中設置

センター長
Director

稲澤 譲治
Inazawa Johji

歯と骨のGCOE 拠点 Global Center of Excellence for Tooth and Bone Research *歯と骨のGCOE プロジェクト実施期間中設置

拠点長
Director

野田 政樹
Noda Masaki

機構図

Organizational Chart



大学院 Graduate Schools

医歯学総合研究科

Graduate School of Medical and Dental Sciences

理念

21世紀における国民と国際社会のニーズに応え、医学・歯学の分野での世界的な教育研究の拠点となり、世界をリードする研究者、研究心旺盛な高度専門医療人（アカデミックドクター）を養成する。修士課程では、出身学部学科で習得した知識・技術を活かしつつ、医学・歯学の幅広い知識を身につけることによって医科学・歯科学の基礎研究の分野で高度の学識を有する人材を養成する。さらに博士課程では、先端的な生命科学分野での指導的研究者、基礎医学と臨床医学の融合を図る臨床指向型研究者、医学・歯学の連携を図る学際型研究者、幅広い学識に基づき全人的診断治療の進歩に貢献できる医療人を養成する。

修士課程

医歯科学専攻

Medical and Dental Sciences

医歯科学専攻医療管理学コース・医療政策学コース

Medical and Dental Sciences, Master of Medical Administration Course

博士課程

口腔機能再構築学系専攻

Oral Health Science

口腔機能再建学講座

Oral Restitution

口腔病理学分野
Oral Pathology

細菌感染制御学分野
Bacterial Pathogenesis

分子免疫学分野
Molecular Immunology

口腔放射線腫瘍学分野
Oral Radiation Oncology

顎口腔外科学分野
Oral and Maxillofacial Surgery

口腔放射線医学分野
Oral and Maxillofacial Radiology

麻酔・生体管理学分野
Anesthesiology and Clinical Physiology

疼痛制御学分野
Orofacial Pain Management

口腔病態診断科学分野
Diagnostic Oral Pathology

口腔機能発育学講座

Orofacial Development and Function

小児歯科学分野
Developmental Oral Health Sciences

咬合機能矯正学分野
Orthodontic Science

摂食機能保存学講座

Restorative Sciences

う蝕制御学分野
Cariology and Operative Dentistry

摂食機能保存学分野
Fixed Prosthodontics

歯髄生物学分野
Pulp Biology and Endodontics

先端材料評価学分野
Advanced Biomaterials

有機材料学分野
Organic Biomaterials

機能材料学分野
Functional Biomaterials

摂食機能回復学講座

Masticatory Function Rehabilitation

部分床義歯補綴学分野
Removable Prosthodontics

インプラント・口腔再生医学分野
Oral Implantology and Regenerative Dental Medicine

全部床義歯補綴学分野
Complete Denture Prosthodontics

顎顔面頸部機能再建学系専攻

Maxillofacial/Neck Reconstruction

顎顔面機構制御学講座

Maxillofacial Biology

顎顔面解剖学分野
Maxillofacial Anatomy

認知神経生物学分野
Cognitive Neurobiology

分子発生学分野
Molecular Craniofacial Embryology

分子細胞機能学分野
Cellular Physiological Chemistry

分子神経生物学分野
Molecular Neurobiology

顎顔面機能修復学講座

Maxillofacial Reconstruction and Function

顎顔面外科学分野
Maxillofacial Surgery

顎顔面矯正学分野
Maxillofacial Orthognathics

顎顔面補綴学分野
Maxillofacial Prosthetics

障害者歯科学分野
Dentistry for Persons with Disabilities

金属材料学分野
Metallic Biomaterials

機械学分野
Biomechanics

頭頸部再建学講座

Head and Neck Reconstruction

臨床解剖学分野
Clinical Anatomy

形成外科学分野
Plastic, Reconstructive and Cosmetic Surgery

頭頸部外科学分野
Head and Neck Surgery

腫瘍放射線医学分野

Diagnostic Radiology and Oncology

生体支持組織学系専攻

Bio-Matrix

生体硬組織再生学講座

Hard Tissue Engineering

硬組織構造生物学分野
Biostructural Science

硬組織薬理学分野
Pharmacology

硬組織再生学分野
Tissue Regeneration

硬組織病態生化学分野
Biochemistry

分子情報伝達学分野
Cell Signaling

歯周病学分野
Periodontology

無機材料学分野
Bioceramics

支持分子制御学講座

Molecular Regulation of Supportive Tissue

細胞生物学分野
Cell Biology

病態代謝解析学分野
Medical Biochemistry

運動器外科学分野
Orthopedic Surgery

環境社会医歯学系専攻

Public Health

国際健康開発学講座

International Health Development

健康推進医学分野
Health Promotion

国際環境寄生虫病学分野
Environmental Parasitology

司法医学分野
Forensic Medicine

国際保健医療協力学分野
International Health

健康推進歯学分野
Oral Health Promotion

スポーツ医歯学分野
Sports Medicine/Dentistry

法歯学分野
Forensic Dentistry

幹細胞医学分野
Stem Cell Biology

分子疫学分野
Molecular Epidemiology

先進倫理医学開発学分野
Life Sciences and Bioethics

医療政策学講座

Health Science Policies

政策科学分野
Health Care Management and Planning

医療経済学分野
Health Care Economics

歯学教育開発学分野
Dental Education Development

研究開発学分野
Research Development

医療情報システム学分野
Health Care Informatics

歯科医療政策学分野
Health Policy and Management in Dentistry

歯学教育システム評価学分野
Educational System Dentistry

教育メディア開発学分野
Educational Media Development

老化制御学系専攻

Gerontology and Gerodontology

口腔老化制御学講座

Gerodontology

高齢者歯科学分野
Gerodontology

加齢制御医学講座

Aging Control Medicine

包括病理学分野
Comprehensive Pathology

統合呼吸器病学分野
Integrated Pulmonology

血流制御内科学分野
Geriatrics and Vascular Medicine

食道・一般外科学分野
Esophageal and General Surgery

呼吸器外科学分野
Thoracic Surgery

リハビリテーション医学分野
Rehabilitation Medicine

全人的医療開発学系専攻

Comprehensive Patient Care

包括診療歯科学講座

Comprehensive Oral Health Care

総合診療歯科学分野
General Dentistry

歯科心身医学分野
Psychosomatic Dentistry

歯科医療行動科学分野
Behavioral Dentistry

顎関節咬合学分野
Temporomandibular Joint and Occlusion

全人診断治療学講座

Comprehensive Diagnosis and Therapeutics

臨床検査医学分野
Laboratory Medicine

救命救急医学分野
Critical Care Medicine

心療・緩和医療学分野
Liaison Psychiatry and Palliative Medicine

薬物動態学分野
Pharmacokinetics and Pharmacodynamics

臨床医学教育開発学分野
Medical Education Research and Development

救急災害医学分野
Acute Critical Care and Disaster Medicine

認知行動医学系専攻

Cognitive and Behavioral Medicine

システム神経医学講座

Systems Neuroscience

神経機能形態学分野
Neuroanatomy and Cellular Neurobiology

システム神経生理学分野
Systems Neurophysiology

眼科学分野
Ophthalmology and Visual Science

耳鼻咽喉学分野
Otolaryngology

認知システム学分野
Molecular and Cognitive Neuroscience

生体システム制御学分野
Biosystem Regulation

脳行動病態学講座

Brain Medical Science

細胞薬理学分野
Neurobiology and Cell Pharmacology

脳神経病態学分野
Neurology and Neurological Science

精神行動医学分野
Psychiatry and Behavioral Sciences

脳神経機能外科学分野
Neurosurgery

血管内治療学分野
Endovascular Surgery

神経病理学分野
Neuropathology

生体環境応答学系専攻

Bio-Environmental Response

感染応答学講座

Infection and Bioresponse

免疫アレルギー学分野
Immunology Allergy

ウイルス制御学分野
Molecular Virology

免疫治療学分野
Immunotherapeutics

生体防御学分野
Biodefense Research

病態細胞生物学分野
Pathological Cell Biology

生体応答学講座

Bioregulation

発生発達病態学分野
Pediatrics and Developmental Biology

膠原病・リウマチ内科学分野
Rheumatology

皮膚科学分野
Dermatology

代謝応答化学分野
Pathological Biochemistry

免疫応答制御学分野
Immunology

環境生物学分野
Cellular and Environmental Biology

器官システム制御学系専攻

Systemic Organ Regulation

消化代謝病学講座

Digestive and Metabolic Disease

人体病理学分野
Human Pathology

消化器病態学分野
Gastroenterology and Hepatology

腫瘍外科学分野
Surgical Oncology

呼吸循環病学講座

Cardio-Pulmonary Diseases

細胞生理学分野
Physiology and Cell Biology

循環制御内科学分野
Cardiovascular Medicine

心肺統御麻酔学分野
Anesthesiology

心臓血管外科学分野
Cardiovascular Surgery

生体情報薬理学分野
Bio-informational Pharmacology

分子代謝医学分野
Molecular Medicine and Metabolism

生体調節制御学講座

Regulation of Internal Environment and Reproduction

腎臓内科学分野
Nephrology

生殖機能協同学分野
Comprehensive Reproductive Medicine

泌尿器科学分野
Urology

幹細胞制御学分野
Stem Cell Regulation

分子薬理学分野
Molecular Pharmacology

細胞機能調節学分野
Molecular Cell Biology

形質発現制御学分野
Functional Genomics

エピジェネティクス分野
Epigenetics

発生再生生物学分野
Developmental and Regenerative Biology

大学院 Graduate Schools

医歯学総合研究科

Graduate School of Medical and Dental Sciences

先端医療開発学系専攻 Advanced Therapeutic Sciences

- 遺伝子・分子医学講座
Gene and Molecular Medicine
- 分子腫瘍医学分野
Molecular Oncology
- 血液内科学分野
Hematology and Oncology
- 分子内分泌内科学分野
Clinical and Molecular Endocrinology
- シグナル遺伝子制御学分野
Signal Gene Regulation
- 創薬化学I分野
Drug Design Chemistry
- 創薬化学II分野
Medicinal-Chemical Biology
- 遺伝制御学分野
Genetic Regulation
- 生命情報学分野
Bio-informatics
- 遺伝子応用医学分野
Applied Genetics
- 分子細胞遺伝学分野
Molecular Cytogenetics
- 遺伝子機能医学分野
Biochemical Genetics
- 疾患モデル動物解析学分野
Experimental Animal Model for Human Disease

- 先端外科治療学講座
Advanced Surgical Therapeutics
- 肝胆膵・総合外科学分野
Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery
- 胸部臓器置換学分野
Thoracic Organ Replacement
- 整形外科学分野
Orthopaedic and Spinal Surger
- 画像・核医学開発学分野
Investigative Radiology and Endoscopy
- 診断病理学分野
Surgical Pathology
- 先端技術開発医学分野
Medical Technology
- 先端機器開発医学分野
Medical Instruments
- 人工臓器工学分野
Artificial Organ Engineering

寄附講座 Endowed Departments

- 薬害監視学講座
Department of Pharmacovigilance
- ナノメディスン(DNP)講座
Department of Nanomedicine
- 応用腫瘍学講座
Department of Translational Oncology
- 分子肝炎制御学講座
Department for Hepatitis Control
- 消化管先端治療学講座
Department of Advanced Therapeutics for GI Diseases
- 整形外科先端治療開発学
Development Division of Advanced Orthopaedic Therapeutics
- 血管病先進制御学講座
Department of Advanced Regulatory Vascular Surgery
- 軟骨再生学講座
Department of Cartilage Regeneration
- 睡眠制御学講座
Department of Sleep Modulatory Medicine
- 小児・周産期地域医療学講座
Department of Pediatrics, Perinatal and Maternal Medicine
- 東京医科歯科大学地域
小児医療調査研究講座(東京都)
Department of Community Pediatric Health Science
- 慢性腎臓病病態治療学講座
Department of Chronic Kidney Disease

大学院 Graduate Schools

生命情報科学教育部 Biomedical Science PhD Program

疾患生命科学研究所 Graduate School of Biomedical Science

【教育理念】

1. 教育部・研究部方式を導入することにより、社会的ニーズと教育研究分野の変化に適切に対応した教育と研究を実施する。
2. 進展の著しい生命情報の理解を基礎として、分野融合的な先端的生命科学分野の研究・開発を担う人材を育てるとともに、生命情報解析に基づくマネジメント能力を身に着け実践的問題解決能力を有する人材の養成を目的とする。
3. 複雑な疾患研究領域と先端的生命科学との融合的学際的分野での実践的な研究を推進する。

【教育目標】

1. 多様なバックグラウンドを持った学生を集め、学際的生命科学領域の発展を担える人材を養成する。
2. バイオサイエンスの知識に基づいて疾患・健康に関する諸課題の解決に実践的に関与できる人材を養成する。
3. 国際的に多方面の分野で必要とされる人材を養成する。

生命情報科学教育部

博士(前期・後期)課程

バイオ情報学専攻 Bioinformatics

高次生命科学専攻 Functional Biology

疾患生命科学研究所

- 疾患生命情報研究部門
Medical Bioinformatics
- 疾患ゲノム分野
Genome Diversity
- システム情報生物学分野
Computational Biology
- プロテオーム情報学分野
Proteome Informatics
- 疾患情報管理学分野
Disease Information Management
- ゲノム情報処理学分野
Genome Informatics
- 応用構造情報研究部門
Applied Structural Biology
- 分子構造情報学分野
Structural Biology
- 薬化学分野
Organic and Medicinal Chemistry
- ケミカルバイオロジー分野
Medicinal Chemistry

- 高次生命制御研究部門
Functional Biology
- 遺伝子発現制御学分野
Gene Expression
- 高次神経科学分野
Molecular Neuroscience
- 免疫学分野
Immunology
- 生命システムモデリング分野
Biosystem Modeling
- 細胞生物学分野
Cell Biology
- 生体異物情報学分野
Immune Recognition
- 発生再生医学分野
Development and Regenerative Medicine

寄附講座 Endowed Departments

- オミックス医療情報学講座
Department of Medical Omics Informatics

学部 Faculties

医学部 Faculty of Medicine

理念

医学部は1951年に設立され、現在は医学科と保健衛生学科からなっている。医学科の授業科目としては、機能形態学、機能協関学、分子遺伝学、感染免疫学、病因病態学、環境社会医学、全人診療学、内科学、小児医学、精神医学、外科学、感覚器医学、皮膚医学、女性医学、泌尿生殖医学がある。保健衛生学科は看護学専攻と検査技術学専攻とからなる。看護学専攻の科目には基礎・臨床看護学と地域保健看護学があり、検査技術学専攻の授業科目には基礎検査学と病因・病態検査学がある。

医学科と保健衛生学科は、国内にとどまらず世界の医療現場においてリーダーとなりうる優秀な学生を歓迎する。さらに、本学は他の人々に深い配慮と豊かな想像力を持ち、国民の健康に貢献しようという強い意志を持った学生を求めている。

東京医科歯科大学の3つの教育理念に基づき、医学部の全教職員は学生が学術的・臨床的知識を習得し、臨床の場では高い技術を備えるよう指導するとともに、研究意欲に富み、すぐれた人格と洞察力を持つ医療人を育てるよう努める。本学学生の大多数が、国内・世界の人々に貢献できることを望んでいる。

保健衛生学科の教育理念は、豊かな教養と高い倫理観に基づくものである。自ら学び研究し、創意工夫をすることができる医療人を育て、個々に応じた指導を目指している。学際的視点に立ち看護学・検査学それぞれの領域への専門的な教育を提供している。

医学科 School of Medicine

【学科目】

- 機能形態学
Functional Morphology
- 機能協関学
Physiology and Pharmacology
- 分子遺伝医学
Molecular Genetics
- 感染免疫学
Infectious Immunology
- 病因病態学
Pathology
- 外科学
Surgery
- 感覚器医学
Sensory Organ Sciences
- 皮膚医学
Dermatology and Plastic Surgery
- 女性医学
Female Medicine
- 泌尿生殖医学
Urology and Reproductive Medicine
- 環境社会医学
Environment Social Medicine
- 全人診療学
Comprehensive Diagnostics
- 内科学
Internal Medicine
- 小児医学
Pediatric Medicine
- 精神医学
Neurology and Psychiatry

保健衛生学科 School of Health Care Sciences

看護学専攻 Nursing Science

【学科目】

- 基礎・臨床看護学
Fundamental and Clinical Nursing
- 地域保健看護学
Community Health Nursing

検査技術学専攻 Medical Technology

【学科目】

- 基礎検査学
Laboratory Science
- 病因・病態検査学
Laboratory Technology

保健衛生学研究科

Graduate School of Health Care Sciences

理念

社会構造が複雑化した現代社会において、保健医療従事者は多職種連携により学際的・国際的な視野から、人々の健康を守るための方法を開発し洗練させ、その成果を世界の隅々まで行き渡らせていく責務を負っている。保健衛生学研究科では、看護学、検査学に求められた課題への対応を通じて、あらゆる健康問題に取り組む実践能力や、実践に有効な方法を開発する研究能力と共に、優れた人材を育てる教育能力を備えた人材の養成を目指している。すなわち、専門分野ごとの知識・技術に精通すると共に、現場が抱えている問題の把握力、解決力に優れ、実践的な問題意識と学際的な視野に根ざす臨床指向型研究を進展させ、世界の臨床現場に発信していくことのできる高度専門職業人ならびに指導的研究者の養成が本研究科の使命である。

博士(前期・後期)課程

総合保健看護学専攻 Comprehensive Health Nursing Sciences

- 地域・在宅ケア看護学講座
Community Health and Home Care Nursing
- 地域保健看護学分野
Community Health Nursing
- 在宅ケア看護学分野
Home Care Nursing
- リプロダクティブヘルス看護学分野
Reproductive Health Nursing
- 精神保健看護学分野
Mental Health and Psychiatric Nursing

看護機能・ケアマネジメント開発学講座 Nursing Function and Care Management

- 生体・生活機能看護学分野
Fundamental Nursing and Life Support
- 小児・家族発達看護学分野
Child and Family Nursing
- 先端侵襲緩和ケア看護学分野
Critical and Invasive-palliated Care Nursing
- 高齢者看護・ケアシステム開発学分野
Gerontological Nursing and Health Care System
- 看護システムマネジメント学分野
System Management in Nursing

健康教育開発学講座 Health Education

- 健康情報分析学分野
Analytical Health Science

- 健康教育学分野
Occupational Health Education
- 国際看護開発学分野
International Nursing Development

生体検査科学専攻 Biomedical Laboratory Sciences

- 生命情報解析開発学講座
Life Sciences and Bio-informatics
- 分子生命情報解析学分野
Biochemistry and Biophysics
- 形態・生体情報解析学分野
Anatomy and Physiological Science
- 生命機能情報解析学分野
Biofunctional Informatics
- 生体機能支援システム学分野
Biophysical System Engineering

分子・遺伝子応用検査学講座 Moleculo-genetic Sciences

- 先端分析検査学分野
Analytical Laboratory Chemistry
- 生体防御検査学分野
Microbiology and Immunology
- 分子病態検査学分野
Molecular Pathophysiology
- 先端血液検査学分野
Laboratory Molecular Genetics
- 先端生体分子分析学分野
Advanced Analytical Chemistry

学部 Faculties

歯学部

Faculty of Dentistry

歯学科

School of Dentistry

【教育理念】

豊かな人間性を有し、使命感をもって全人的な歯科医療を実践し、国民の健康維持・増進に寄与するとともに、国際的視野から歯科医学・歯科医療の向上に貢献できる指導者を育成する。

【教育目標】

- 幅広い教養を身につけ、歯科医師としての豊かな人間性を培う。
- 基本的な科学原理と概念を理解し、生命科学の知識を修得する。
- 科学的探究心をもち、自ら問題を発見し、解決する能力を身につける。
- 全身の常態と病態を理解した上で、口腔・頭蓋・顎・顔面領域の疾患の予防、診断、治療に関する知識と基本的技術を修得する。
- 社会における歯科医学・医療の役割とその重要性を理解する。

口腔保健学科

School of Oral Health Care Sciences

【基本的理念】

温かく豊かな人間性を有し、口腔保健・福祉の立場から、人々の健康で幸せな生活の実現のため、専門的知識および技術をもって広く社会貢献し、指導的役割を果たすことのできる人材を育成する。

【一般教育目標】

口腔保健学科では、次のような一般教育目標の基に教育を行っています。

- 生命の尊厳と基本的な科学原理・概念を理解し、生命科学の知識を修得する。
- 基本的人権を尊重し、相手の心情と行動を理解して人と接する能力を身につける。
- 社会における口腔保健・福祉の果たす役割とその重要性を理解する。
- 心身の様々な状態を理解し、口腔保健に関する知識および技術を修得する。
- 科学的探究心と問題解決能力を身につけ、生涯学習への意欲を培う。
- 保健・医療・福祉等の関連職種と連携して活動できる能力を身につける。
- 口腔保健の立場から国際貢献ができる能力を修得する。

附属教育研究施設

Affiliated Educational and Research Facilities

附属歯科技工士学校

School for Dental Technologists

歯科技工に関する高度の技術を授ける。

口腔保健教育研究センター

Center for Education and Research in Oral Health Care

口腔保健の需要と供給に関する調査・研究。

【学科目】

口腔顎顔面構造学

Oral and Maxillofacial Structure

口腔顎顔面機能学

Oral and Maxillofacial Function

口腔病因病態学

Oral Pathology and Pathophysiology

口腔顎顔面再生医工学

Oral and Maxillofacial Bioengineering

歯科社会医療倫理学

Oral Public Health and Ethics in Dentistry

包括診療歯科学

Comprehensive Oral Health Care

歯科保存・蝕蝕制御学

Restorative Dentistry/Cariology

歯周病学

Periodontology

口腔顎顔面外科学

Oral and Maxillofacial Surgery

歯科補綴学

Prosthodontics

高齢者歯科・口腔老化制御学

Gerodontology

口腔機能咬合機能育成制御学

Orofacial Development and Function

障害者歯科・生体管理学

Dentistry for the Disabled/
Clinical Physiology

口腔保健衛生基礎学講座

Fundamental Oral Health Care Sciences

顎口腔基礎科学分野

Oral and Maxillofacial Biology

口腔保健衛生基礎学分野

Fundamental Oral Health Care Science

口腔健康推進統合学講座

Oral Health Care Promotion

口腔健康教育学分野

Oral Health Care Education

口腔疾患予防学分野

Preventive Oral Health Care Science

生涯口腔保健衛生学講座

Lifetime Oral Health Care Sciences

発達口腔保健衛生学分野

Pediatric Oral Health Care Science

成人口腔保健衛生学分野

Adult Oral Health Care Science

高齢者口腔保健衛生学分野

Geriatric Oral Health Care Science

地域・福祉口腔保健衛生学講座

Community Oral Health Care Science

地域・福祉口腔保健衛生学分野

Community Oral Health Care Science

教養部 College of Liberal Arts and Sciences

理念

東京医科歯科大学教養部は、東京医科歯科大学に入学したすべての学生に、教養教育を実施するために設置されています。教養部は、将来、医療の分野で活躍するプロフェッショナルに必要なしっかりとした土台を獲得してもらうために、いわゆるリベラル・アーツ教育と一般教育を融合したカリキュラムを組んでいます。リベラル・アーツ教育は、学生が単なる知識ではなく、歴史、文化、哲学や倫理などの、人の活動によって生じるさまざまな問題を理解することが重要であり、この作業を通して、人に対する正しい理解と人と向き合う態度を獲得させることであり、一般教育は、広い分野の人文・社会・自然科学に対する基礎的な知識と考え方を獲得させることだと考えています。これによって、本学に入学してくる高い能力をもった学生を幅広い教養と豊かな感性を持ち、将来にわたって活躍できる有為な医療人への道へ導き、歩ませることができると考えています。このような教養教育の理念を実現するために、教養部が行う教育のミッションは、次の4つの項目にまとめた能力や技能を学生に獲得させることだと考えています。

- 市民社会の一員として地球と世界を知り、市民社会の一員としての社会的倫理規範・法規範を理解し、他者と自己および社会との関係性を理解し、果たすべき責務を引き受ける能力を身に付ける。
- 人文科学、社会科学、自然科学の各領域における学問の特色を理解し、研究の方法論と表現法を修得し、さまざまな視点から自発的に問いかけ、学ぶ能力を身に付ける。
- 相互理解のための言語的、身体的コミュニケーション技術および情報を取り扱う技術を習得し、それにふさわしい表現技能を身に付ける。
- 医学・歯学の専門教育に必要な基礎学力、論理的思考能力、実験技術、および発表技術を身に付ける。

生体材料工学研究所 Institute of Biomaterials and Bioengineering

理念

当研究所の前身である歯科材料研究所が昭和26年にスタートし、その後、半世紀に渡って歯科材料を含む生体材料学と医用器材の研究に特化した附置研究所として、他に先駆け医歯工連携の歴史を綴ってきました。この間、昭和41年に医用器材研究所として、平成11年には現在の生体材料工学研究所（略称：生材研）として発展的に改組・改称され、現在では機能分子、素材、システムの3大部門、13分野に拡大しました。これまでに世界に先駆け、「活性型ビタミンD製剤の開発」「抗血栓性ポリマー（MPC）の開発」「超弾性型Ti-Ni合金ワイヤーの開発」「人工アパタイトの製造」などの研究成果を世に出し、基礎から医用デバイス、医療製品の開発に至る、生体材料工学に関する世界の研究拠点として活動してきました。平成16年4月より国立大学の法人化に伴い、当研究所は新たに以下の中期計画を策定し、バイオマテリアル・バイオエンジニアリングに関する学際的基礎を深化させ、分子デバイスから人工臓器を包含する先端的应用研究を以下の通り推進しています。

- 疾病に関する分子情報の集積や機能分子創製による、先端医療ナノバイオサイエンス
- バイオインスパイアードマテリアルの創製と応用研究
- バイオシステムエンジニアリングの先端医療への応用研究

わが国の研究環境は激変していますが、飛躍のための好機と捉え、世界に冠たる研究機関としての礎を一層強固にしつつあります。また、若い優秀な人材が魅力を感じる研究所作りを目指しています。

【学科目】

哲学

Philosophy

歴史学

History

文学

Literature

統計学

Statistics

社会学

Sociology

数学

Mathematics

物理学

Physics

化学

Chemistry

生物学

Biology

英語

English

ドイツ語

German

フランス語

French

保健体育

Health Science and Physical Education

機能分子研究部門

Biofunctional Molecules

メディシナルケミストリー分野

Medicinal Chemistry

分子設計分野

Molecular Design

分子制御分野

Applied Functional Molecules

バイオセンサー分野

Biosensors

素材研究部門

Division of Biomaterials

金属材料分野

Metals

無機材料分野

Inorganic Materials

有機材料分野

Organic Materials

生体材料物性分野

Biomaterials Mechanic

システム研究部門

Division of Biosystems

バイオデザイン分野

Biodesign

情報分野

Biomedical Information

計測分野

Biomedical Devices and Instrumentation

制御分野

Biosystem Regulation

生体システム分野

Artificial Organs

理念

東京医科歯科大学難治疾患研究所は、難治疾患病態発現の“学理”と“応用”、すなわち、基本原理を理解し、その診断、治療法を開発することを目指している。これらの難治疾患としては、がん、心血管、神経、運動器、代謝、免疫の広範囲にわたる。我々は、また、発生、分化の基本原理や難治疾患の新規治療法の開発をもたらすであろう幹細胞の研究を進展させようとしている。この目的達成のために、分子、細胞、そしてモデル動物までわたる一流の研究者を集め、その結果、ヒトを含む生物全般に共通して働く分子機構を明らかにし、難治疾患に関わる臨床と実験試料の多大なリソースを集積してきた。特に、難治疾患研究所は、文部科学大臣による「共同利用、共同研究拠点」の認定制度に基づき、「難治疾患共同研究拠点」(認定の有効期間：平成22年4月1日～平成28年3月31日)として認定された。そのおもなミッションは、以下の通りである。

1. 難治疾患の病因・病態形成機構解明と診断・予防・治療法開発の基盤形成に資する共同利用・共同研究拠点構築を目的とする。
2. 「疾患バイオリソース」、「疾患モデル動物」、「疾患オミックス」の3つの難治疾患研究リソースを活用した公募型の戦略的難治疾患克服共同プロジェクトを推進する。
3. 国内外の研究者に、上記のリソース群へのアクセスや現有する先端解析支援施設の利用機会の提供を行ない、本邦の難治疾患研究の広範な発展に貢献する。
4. 難治疾患研究に携わる若手研究者の育成・支援システムを整備する。
5. シンポジウム等の開催により、難治疾患研究の啓発と最先端情報の発信に努める。

また、本研究所は、医歯学の学生、大学院学生の教育、若手研究者の育成に深く関与するとともに、海外の多くの研究機関との協定を結び、国際的なプラットフォームを形成している。難治疾患研究を志す国内外の多くの学生、研究者に広く開かれた研究所をめざす。

先端分子医学研究部門
Advanced Molecular Medicine

- 分子代謝医学分野
Molecular Medicine and Metabolism
- 分子薬理学分野
Molecular Cell Biology
- 分子細胞生物学分野
Molecular Cell Biology
- 分子神経科学分野
Molecular Neuroscience
- 生体防御学分野
Biodefence Research
- 生体情報薬理学分野
Bio-informational Pharmacology
- 幹細胞制御分野
Stem Cell Regulation
- プロジェクト研究室
Project Research Unit

難治病態研究部門
Pathophysiology

- 神経病理学分野
Neuropathology
- 病態生化学分野
Pathological Biochemistry
- 病態細胞生物学分野
Pathological Cell Biology
- 発生再生生物学分野
Developmental and Regenerative Biology
- 幹細胞医学分野
Stem Cell Biology
- 免疫疾患分野
Immunology
- 分子病態分野
Molecular Pathogenesis
- フロンティア研究室
(ウイルス治療学)
Frontier Research Unit
Virus Research Unit
- プロジェクト研究室
Project Research Unit

ゲノム応用医学研究部門
Medical Genomics

- 分子細胞遺伝学分野
Molecular Cytogenetics
- 分子遺伝学分野
Molecular Genetics
- 分子疫学分野
Molecular Epidemiology
- 遺伝生化学分野
Biochemical Genomics
- 形質発現分野
Functional Genomics
- エピジェネティクス分野
Epigenetics
- 生命情報学分野
Bioinformatics
- フロンティア研究室
(レドックス応答細胞生物学)
Frontier Research Unit
Redox Response Cell Biology
- プロジェクト研究室
Project Research Unit

客員研究部門
Division of Integrative Research

- 機能構築
Division of Biosystem Generation
- 病態発現機構
Division of Pathogenetic Regulation

大学院教育研究支援実験施設
Advanced Technology Laboratory

- ゲノム解析室
Genome Laboratory
- プロテオーム解析室
Proteome Research Laboratory
- 遺伝子組換えマウス実験室
Laboratory of Recombinant Animals
- 形態機能解析室
Animal Research Laboratory
- バイオリソース支援室
Bioresource Laboratory
- 構造解析室
Laboratory for Structure Analysis
- 幹細胞支援室
Stem Cell Laboratory

教育メディア開発部

Department of Educational Media Development

メディア教育推進部門
Media Education Division

e-learning 及びメディア教育を実施する部局の連絡調整に関すること。

図書館・国府台分館

Library / Kounodai Branch Library

図書及びその他資料等の収集、選定等に関すること。

図書及び施設等の利用に関すること。

理念

学術情報の電子化が進み、情報流通形態が歴史的変革を遂げ、また利用者の情報利用行動が大きく変わりつつある中で、大学図書館には新たな役割が求められている。特に、強化すべき機能として、「大学の特色等を活かした戦略的な紙媒体資料の収集・保存の必要性」「さまざまな学術資料の収集・保存体制の確立・強化」「電子化を活用した狭隘化等への対策」「大学図書館における基盤設備の整備の必要性」という4点が今後の大学図書館に求められている。本附属図書館もこれを踏まえ、「情報利用サービスの拡大」「学内情報資源の集約・組織化」「利用者の量的・質的拡大に向けた戦略」の3点に重点を置き、下記のとおり構想を重ねている。

1. 情報利用サービスの拡大
図書目録の電子化／電子媒体の充実と見直し／情報コンセンタの設置／閲覧座席数の大幅増・多目的化／医歯学メディアセンター利用者の拡大と導入機器の充実
2. 学内情報資源の集約・組織化
研究関連情報としては各分野が保管する研究関連資料／学習内容等を対象とした講義自動集録システムによるe-learningシステムの活用
3. 利用者の量的・質的拡大に向けた戦略
情報リテラシー教育の拡大／利用者の多目的なニーズへの対応／快適な閲覧空間の創造

情報基盤部門

Information Technology Division

学内ネットワークに関すること。全学共同利用サーバの管理・運用に関すること。情報セキュリティの実施に関すること。

本学公式ホームページの技術的管理及び部局・分野等ホームページ作成支援に関すること。研究情報データベースに関すること。

【蔵書数】

区分	和書	洋書	計
図書館 Library	93,182冊	129,538冊	222,720冊
国府台分館 Kounodai Branch Library	68,989冊	17,236冊	86,225冊
計 Total	162,171冊	146,774冊	308,945冊

(平成21年度 Fiscal Year2009)

【施設】

区分	面積	座席数	書庫	事務室・その他	計
図書館 Library	2,222㎡	343席	388㎡	2,034㎡	4,644㎡
国府台分館 Kounodai Branch Library	280㎡	125席	468㎡	285㎡	1,033㎡

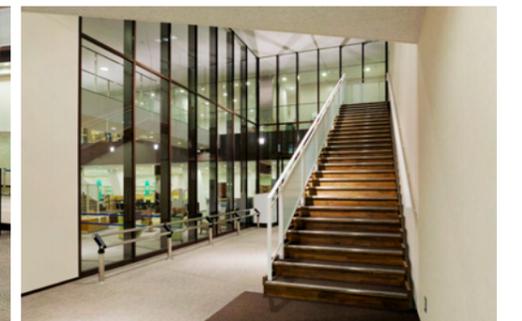
【利用状況】

区分	開館日数	入館者数	開館時間	館外貸出冊数
図書館 Library	359日	161,879人	平日 9:00～22:00 土・日・祝日 9:00～17:00	学生 11,367冊 教職員 2,739冊
国府台分館 Kounodai Branch Library	242日	38,488人	平日 9:00～22:00 土・日・祝日	学生 1,186冊 教職員 154冊

(平成21年度 Fiscal Year2009)



図書館ロビー (M&Dタワー 3F)



全国共同利用施設 Nationwide Joint Institute

医歯学教育システム研究センター Center for Education Research in Medicine and Dentistry

医学・歯学教育のモデル・コア・カリキュラムおよび医学・歯学教育における学習知識と技能・態度に関する到達度評価法を調査研究し、わが国の医師・歯科医師の養成に貢献すること。

学内共同教育研究施設 Joint Institutes for Education and Research

医歯学研究支援センター Research Center for Medical and Dental Sciences

疾患遺伝子部門
Human Gene Sciences Research Division
基礎・臨床疾患遺伝子分野に関する教育及び研究。

機器分析部門
Instrumental Analysis Research Division
機器分析技術の開発、研究、教育および分析機器の利用提供と共同利用の推進。

アイソトープ部門
General Isotope Research Division
放射線・ラジオアイソトープ関連分野に関する教育および研究。

若手研究者インキュベーション部門
Advanced Young Researchers Incubation Division
若手研究者による独立した研究の推進。

実験動物センター Center for Experimental Animal

動物実験及び動物の飼育管理並びに研究。

国際交流センター International Exchange Center

国際交流に関する統括的な業務の実施及び国際交流の推進。

生命倫理研究センター Life Science and Bioethics Research Center

生命倫理学教育の実施及び基礎および臨床研究計画支援の推進。

医歯学融合教育支援センター Center for Interprofessional Education

本学の教育資源を有効に活用し、高齢化社会に対応する包括的医療教育の推進および教育の質の維持・向上を図るため、医歯学融合型教育を新たに構築し、高度かつ効率的な教育体制を整備すること。

保健管理センター Health Service Center

保健管理センター Health Service Center

本学の保健管理の充実を図るための専門的業務を行うとともに、学生及び職員の健康の保持増進を図ること。

スチューデントセンター Student Center

スチューデントセンター Student Center

本学の学生に対し、生活、修学、就職、メンタルヘルス及びハラスメントに関することなど本学におけるキャンパスライフ全般にわたり、全学的に支援を行い、もって学生支援活動の充実を図ること。

知的財産本部 Intellectual Property Division

知的財産本部 Intellectual Property Division

本学の知的財産の創出、管理及び活用を推進すること。

附属病院 University Hospitals

医学部附属病院 University Hospital of Medicine

歯学部附属病院 University Hospital of Dentistry

理念

大学の基本理念を踏まえ、医学部附属病院（以下、「医学部病院」という。）および歯学部附属病院（以下、「歯学部病院」という。）は、全人的医療人育成の実践的培地であると同時に一流の医歯学研究者、臨床医、臨床歯科医およびコ・メディカル職員が活躍する場と考え、それぞれの使命と責務の達成に取り組んでいる。附属病院の最終目標は医歯学領域における現在、未来への社会貢献である。ここでいう臨床医歯学の社会貢献とは、

1. 病者に最善の医療を提供して可能な限り発病以前の充実した社会生活ができるようにする
2. 予防医学や臨床的研究成果の活用により疾病の発生を防止する
3. 臨床治療成果を医療へ迅速に展開し、疾患治癒率の向上をはかる
4. 社会的要請に応える実践的医療人の育成
5. 臨床研修施設や大学附属病院において臨床指導を実践する医療人の育成
6. 将来の医療を考え次世代の医療の実践や人材養成を可能とする教育・研究者の育成

などが上げられる。これらを実現するために、

1. 学部学生への充実した臨床教育および卒後臨床研修への厚い指導層と症例数など拡充整備された医療環境の提供
2. 受診者への良質で安全な医療の提供
3. 首都、首都圏、関東甲信越圏などの地域中核病院との人的・機能的連携ならびに国際的な医療貢献とそのための支援体制の構築
4. 広域な連携病院との臨床治験を含めた臨床研究の実践と広域医療レベル向上策の実施
5. 連合大学との連携による横断的研究体制と学内の基礎医学分野との連携による縦断的研究体制を組み合わせたマトリックス構想による先進医療の開発とその実践
6. 国民への安心・安全な医療提供を目指した病院の安全管理および経営の実学的構築

以上6項目の基本使命を掲げ、各附属病院が今後取り組んでいくべき具体的計画を作成した。

医学部病院では、国内地域医療上の課題への対応と解決策の提示を行うとともに、臨床研究や最先端医療面では国際的観点から、絶えず世界的貢献を視野に難治疾患や難手術などに新たな治療法の確立を目指す。また、歯学部病院では、今後ますます優れた医療人の育成に努め、患者一人ひとりにあった安全で質の高い歯科医療を実践し、口腔の健康増進を通して社会に貢献していくことを目指す。附属病院の安定した運営は、大学経営にとっても非常に重要であることを踏まえ、継続的な努力を行い、学部学生や大学院生の教育並びに先進的な研究の推進に資する。

医学部附属病院（医科A棟）



歯学部附属病院（歯科棟南）



診療科

Clinics

内科系診療部門
Department of Internal Medicine

- 血液内科
Hematology
- 膠原病・リウマチ内科
Rheumatology
- 内分泌・代謝内科
Endocrine, Metabolic, Diabetes
- 腎臓内科
Nephrology
- 老年病内科
Geriatrics
- 消化器内科
Gastroenterology and Hepatology
- 循環器内科
Cardiovascular Medicine
- 呼吸器内科
Pulmonary Medicine

外科系診療部門
Department of Surgery

- 食道・胃外科
Esophageal and Gastric Surgery
- 大腸・肛門外科
Colorectal Surgery
- 肝胆膵外科
Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery
- 乳腺外科
Breast Surgery

- 血管外科
Vascular Surgery
- 心臓血管外科
Cardiovascular Surgery
- 呼吸器外科
Thoracic Surgery
- 胸部人工臓器外科
Thoracic Organ Replacement
- 泌尿器科
Urology
- 頭頸部外科
Head and Neck Surgery

感覚・皮膚・運動機能診療部門
Department of Sensory, Motor System
Medicine and Dermatology

- 眼科
Ophthalmology
- 耳鼻咽喉科
Oto-Rhino-Laryngology
- 皮膚科
Dermatology
- 形成・美容外科
Plastic and Aesthetic Surgery
- 整形外科
Orthopedic Surgery

小児・周産・女性診療部門
Department of Pediatrics,
Maternal and Woman's Clinic

- 小児科
Pediatrics
- 周産・女性診療科
Maternal and Woman's Clinic
- 遺伝子診療外来
Clinical Genetics Division

脳・神経・精神診療部門
Department of Neurology,
Neurosurgery and Neuropsychiatry

- 脳神経外科
Neurosurgery
- 神経内科
Neurology
- 血管内治療科
Endovascular Surgery
- 精神科
Neuropsychiatry
- 麻酔・蘇生・ペインクリニック科
Anesthesiology and Pain Clinic
- 心身医療科
Psychosomatic and Palliative Medicine

放射線診療部門
Department of Radiology

- 画像診断・放射線治療科
Diagnostic Radiology and Oncology

救命救急センター

Trauma and Acute Crtical Care Medical Center

中央診療施設等

Department of Internal Medicine

- 薬剤部
Department of Pharmacy
- 検査部
Clinical Laboratory
- 手術部
Operationg Center
- 放射線部
Radiological Center
- 輸血部
Hospital Blood Transfusion Center
- 理学療法部
Physical Medicine Center
- 集中治療部
Intensive Care Unit

- 材料部
Supply Unit
- 分娩部
Maternal Fetal Medicine Division
- 病理部
Department of Pathology
- 光学医療診療部
Department of Endoscopic Diagnosis and Therapy
- 医療情報部
Department of Medical Informatics
- 血液浄化療法部
Department of Blood Purification
- 総合診療部
Department of General Medicine

- 外来化学療法・注射センター
Outpatient Chemotherapy Center
- 核医学・PETセンター
Positron Emission Tomography Center
- がん治療センター
Cancer Treatment Center
- 医療福祉支援センター
Center for Medical Welfare and Support
- 臨床試験管理センター
Clinical Research Center
- 臨床教育研修センター
Center for Postgraduate Medical Education
- 高気圧治療部
Hyper Baric Medical Center

- MEセンター
ME Center
- 細胞治療センター
Center for Cell Therapy
- 病歴管理部
Department of Medical Records
- 安全管理対策室
Quality Management Section
- 感染対策部
Infection Control Section

看護部

Nursing Department

診療科

Hospital Departments

育成系診療科
Clinics for Dentofacial
Growth and Development

- 矯正歯科外来
Orthodontics
- 小児歯科外来
Pediatric Dentistry

維持系診療科
Clinics for Conservation of
Oral and Maxillofacial Function

- むし歯外来
Operative Dentistry and Endodontics
- 歯周病外来
Periodontics
- ペインクリニック
Orofacial Pain Clinic
- 歯科心身医療外来
Psychosomatic Dentistry Clinic
- 顎関節治療部
Temporomandibular Joint Clinic

回復系診療科
Clinics for Oral and
Maxillofacial Rehabilitation

- 口腔外科外来
Oral Surgery
- 顎顔面外科外来
Maxillofacial Surgery
- 義歯外来
Prosthodontics
- 顎義歯外来
Maxillofacial Prosthetics
- スポーツ歯科外来
Sports Dentistry
- 言語治療外来
Speech Clinic
- インプラント外来
Dental Implant Clinic

総合診療科
Clinics for General Dentistry

- 歯科総合診療部
Oral Diagnosis and General Dentistry

(専)いびき無呼吸歯科外来
Dental Sleep Clinic

- 第1 総合診療室
General Dentistry I
- 第2 総合診療室
General Dentistry II
- 第3 総合診療室
General Dentistry III

- 歯科麻酔外来
Ambulatory Anesthesia Service
- 歯科放射線外来
Oral and Maxillofacial Radiology
- スペシャルケア外来
Special Care Clinic

(専)摂食リハビリテーション外来
Dysphagia Rehabilitation

- 息さわやか外来
Fresh Breath Clinic
- クリーンルーム歯科外来
Cleanroom
- 口腔ケア外来
Oral Health Care
- 歯科アレルギー外来
Dental Allergy

中央診療施設等

Central Clinical Facilities

- 検査部
Clinical Laboratory
- 歯科技工部
Dental Laboratory
- 医療安全管理室
Section of Clinical Safety Management
- 感染対策室
Cleanroom or Unit for Infection Control

- 診療情報管理室
Section of Clinical Information Management
- 歯科臨床研修センター
Center for Advanced Dental Clinical Education
- 地域歯科医療連携センター
Center for Clinical Cooperation
- 歯科医療情報センター
Center for Dental Information

- 歯科器材・薬品開発センター
Center for Development of Instruments and Drugs in Dentistry
- 中央手術室
Division of Surgical Operation
- 歯科病棟
Dental Ward
- 中央器材室
Section of Central Supplies

薬剤部

Department of Pharmacy

看護部

Department of Nursing

歯科衛生保健部

Department of Dental Hygiene

グローバルCOEプログラム

Global COE Program

平成14年度から文部科学省において開始された「21世紀COEプログラム」の評価・検証を踏まえ、その基本的な考え方を継承した「グローバルCOEプログラム」に、東京医科歯科大学からは下記のプログラムが採択されました。このプログラムは大学院の教育研究機能を一層充実・強化し、世界最高水準の研究基盤の下で世界をリードする創造的な人材育成を図ること、国際的に卓越した教育研究拠点の形成を重点的に支援し国際競争力のある大学づくりを推進することを目的としています。

歯と骨の分子疾患科学の国際教育研究拠点

事業推進責任者：難治疾患研究所 野田 政樹 教授

グローバルCOEプログラム：歯と骨の分子疾患科学の国際教育研究拠点（ーデント・メドミクスのインテリジェンスハブー）の理念は新しい「若手に対する重点教育」による育成システムを創造することである。

本拠点は、2007年度までの21世紀COEプログラム「歯と骨の分子破壊と再構築のフロンティア」の成果として、世界の最先端の研究成果が挙げられ、また国内外の一流の研究機関にて活躍する優秀な若手が育成され、研究レベルの上でも着実な発展を遂げた。臨床的にも本拠点から発表された非侵襲性の治療の研究は特筆すべきであり、その成果は、わが国の多くのメディアをはじめ、全世界に報道された。事業推進担当者は優れた研究を推進し、本拠点から多数の業績を発信するとともに外部資金を充実させ大学院に新たな教育方式を取り入れ、人材を養成するなど研究、教育、診療にわたり本領域の発展に貢献した。

本グローバルCOEプログラムの目的は、世界で最も高齢化の進行する我が国において、人が生きる為に必須の“歯と骨”の疾患の分子病態とその再建・治療について、新たに新領域の研究者を加え最先端の研究をさらに推進し、現在の国際教育推進体制を新設し、次世代を担う「世界で活躍する若手研究者」を育成することである。

生命的な寿命のみならず“健康寿命”をいかに維持するかに重要な“歯と骨”の硬組織は、加齢により量・質共に喪失が進行し、これを完全に止めることは尚困難である。そこでいかにこれを“治療・再建”するかが緊急の課題で、ここに本研究の必要性があり国民の健康上の課題としての重要性が大きい。本拠点の期待される効果は、世界の最先端の“歯と骨”の領域における実

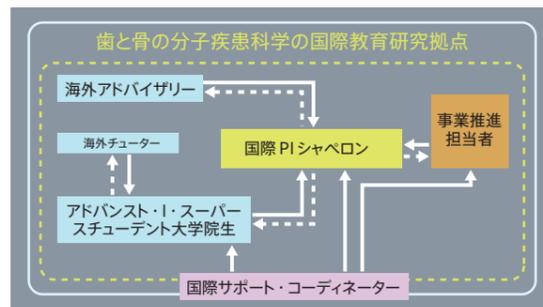
績に基づき、

- (1) さらにこれまでにない、先導的研究を歯と骨の研究領域に導入し、引き続き世界のトップとして牽引すること
- (2) 我が国の“歯と骨に関わる国民の健康増進”に寄与すること
- (3) また次世代の国際的に活躍する優秀な若手研究者を育成することである。

構想する拠点は、これまでの本領域における実績に加え、その規模と質の両面で高い評価を基盤とした基礎ならびに臨床研究を推進する歯と骨の研究領域における世界最高レベルの教育研究拠点であり、疾患の分子病態のメカニズムならびにその先進的治療法開発を実現する研究を推進し、国際的に活躍する若手研究者を育成するものである。

本拠点の研究活動の重点は、

- (1) 歯と骨の喪失に至る疾患の分子病態成立のメカニズムの解明
 - (2) 歯と骨の先進的再建の為に診断治療法の基盤研究の推進
 - (3) 歯と骨の疾患の機能ゲノム研究の推進
- にある。



大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラム(総合的連携型)

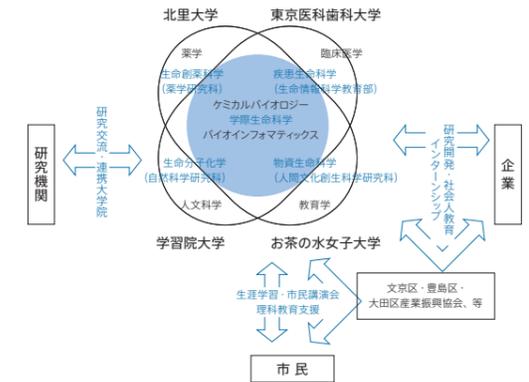
The "Strategic University Collaboration and Assistance Program for the Enrichment of University Education"

本プログラムは、国公私立大学間の積極的な連携を推進し、当該地域の知の拠点として、教育研究水準のさらなる高度化、大学運営基盤の強化等とともに、地域と一体となった人材育成の推進を図ることを目的として文部科学省が平成20年度から助成しています。

学際生命科学東京コンソーシアムによる全人的大学院人材育成拠点の確立

取組責任者：大学院疾患生命科学部 田中 博 教授

この取組は、学際生命科学分野の高度化において互いに補完的な特色を有し、東京の中心部に位置する東京医科歯科大学、お茶の水女子大学、学習院大学、北里大学の四大学の学際生命科学領域が中核となり、首都圏の様々な研究機関・企業・自治体と連携の輪を広げて産官学地域ネットワークを確立します。さらに、四大学がこのような地域ネットワークと連携しつつ補完的に大学院共通カリキュラムの開発やインターンシップ共同実施、学生支援共同実施等の教育高度化システム構築や地域連携を行うことにより、国・私立の枠を超えて地域と連携した異分野融合的教育研究環境を構築し、幅広い学識を備え真の社会ニーズを理解して探究できる人材の育成を行うとともに生命科学領域の産官学地域拠点形成を行っていきます。



大学教育・学生支援推進事業【テーマA】大学教育推進プログラム

Program for Promoting University Education and Student Support.

大学教育・学生支援推進事業【テーマA】大学教育推進プログラム(大学における教育の質保証の取組の高度化)は、各大学等における学士力の確保や教育力向上のための取組の中から、達成目標を明確にした効果が見込まれる取組を選定し、広く社会に情報提供するとともに、重点的な財政支援を行うことにより、我が国の高等教育の質保証の強化に資することを目的としています。

コンピュータによる診療模擬実習の展開

— 医療専門職の推論・判断・解決・連携能力を向上させる、コンピュータシミュレーション実習 —

取組担当者：図書館情報メディア機構長 木下 淳博 教授

本取組では、導入する教材制作・共有システム、診療映像収録・編集装置、教材作成・評価システム(データベース)を、既存のeラーニングシステム、双方向通信装置等と連携させ、情報通信技術の活用を図ることにより、医療系総合大学として、医学科、歯学科、保健衛生学科、口腔保健学科の学生が共通して、または相互に学ぶべき内容、症例等に関する教材を、学科を超えて共同開発し、全学科の学生が、時間や空間の制約なく学べる教育システムに発展させます。

また、臨床現場を疑似体験できるコンピュータシミュレーション教材を充実させることによって、学生の臨床推論能力、臨床判断能力、問題解決能力、チーム医療を実践するための連携能力を培い、医療人としての学士力を確保します。



医療人として当然でなければならぬ緊急対応、共通のルール、医療コミュニケーションの基礎、チーム医療の実際を疑似体験する。



看護職キャリアシステム構築プラン

The plan of the construction of the career system of nurses

看護職キャリアシステム構築プランは、看護師の人材養成システムの確立を図る大学の取り組みを支援するため、体系立てられた看護教育プログラムの開発、看護用キャリアセンターやスキルスラボ(臨床技能学習のための施設)の整備等の支援を行います。

看護職IKASHIKAキャリアパスの開発～メンター・PBL方式による～

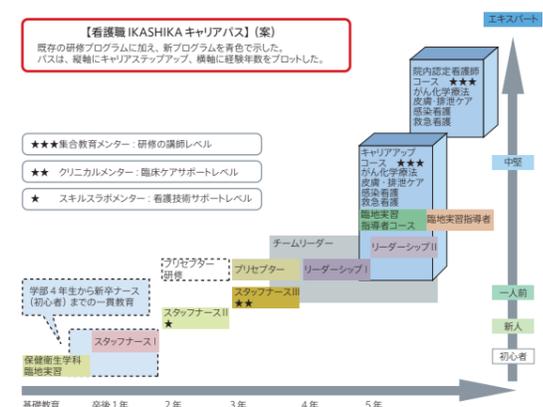
事業推進責任者: 医学部附属病院看護部長 小牟田 智子

この取り組みは看護職のキャリアシステムの構築を目的とする文部科学省の新規事業で、大学病院看護部と保健衛生学科が連携して臨床研修方法や体制を開発し、看護職及び基礎教育課程の教育レベルを向上させることによって、効率的・継続的な専門能力の向上を目指すものです。

本学のプランにおいてはキャリア形成を系統的、効果的に支援するためにメンタリングと問題基盤型学習(PBL: Problem based learning)技法を取り入れ、本学オリジナルの「看護職IKASHIKAキャリアパス」を開発、実施し、各人の目標達成を支援することを目指しています。このキャリアパスは、学生からエキスパートに至る看護職発達モデルに基づく一貫した支援システムであり、各段階に明確な到達目標が提示されています。この活用により、学生・スタッフの評価及び、部署毎や病院全体のキャリア能力の把握が可能となります。

具体的には図に示すように、基礎教育からスタッフナースI、

スタッフナースIIからリーダーシップII、キャリアアップコースの3段階を軸とし、メンター教育も取り入れたキャリアパスとなっています。



組織的な大学院教育改革推進プログラム

Program for Enhancing Systematic Education in Graduate Schools

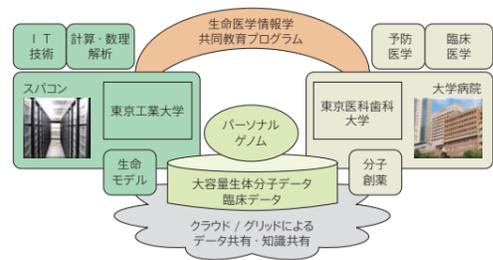
「組織的な大学院教育改革推進プログラム」は、社会の様々な分野で幅広く活躍する高度な人材を育成する大学院博士課程、修士課程を対象として、優れた組織的・体系的な教育取組に対して重点的な支援を行うことにより、大学院教育の実質化及びこれを通じた国際的教育環境の醸成を推進することを目的としています。

情報学と生命医学の発展的融合教育の新展開

取組実施責任者: 大学院生命情報科学教育部長 影近 弘之 教授

本プログラムは東京工業大学と東京医科歯科大学が共同で、四大学連合(東京医科歯科大学、東京外国語大学、東京工業大学、一橋大学、平成13年に憲章締結)の実績に立ち、情報学と生命医学の融合教育プログラムを開発するものである。異分野の学生と教員が医療の高度化というひとつの目標に向かって切磋琢磨する場を提供することにより、真に社会に必要とされる技術開発を促進し、異分野融合領域で活躍できる能力を学生に付与することを旨とする。東京医科歯科大学の学生は、東京工業大学の教授陣から、生命ダイナミズムに関する情報概念やスーパーコンピュータ上の並列計算を含む最先端の情報工学を学ぶ。

次世代シーケンサーなどが産出する膨大なパーソナルゲノム情報の意味を解析できる能力を身につけ、パーソナルゲノム先端医療をリードできる人材を育成する。



がんプロフェッショナル養成プラン

Human Resource Development Plan for Cancer

この事業は、文部科学省が大学のがん治療の教育を活性化し、がん医療を担う医療人養成を推進させるために、質の高いがん専門医等を養成し得る優れたプログラムに財政支援を行うものです。全国で18件のプログラムが採択されています。

がん治療高度専門家養成プログラム

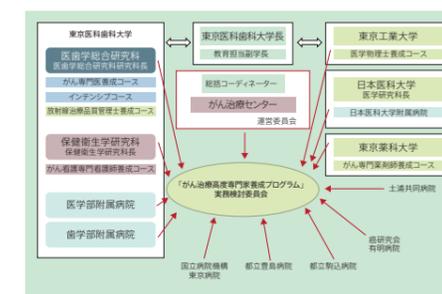
事業推進責任者: 大学院医歯学総合研究科長 大野 喜久郎 教授

本プログラムの特徴は、組織体制として、コーディネーターを中心に、本学大学院医歯学総合研究科・保健衛生学研究所ならびに医学部附属病院・歯学部附属病院、日本医科大学医学研究科および附属病院、東京工業大学大学院歯工学特別専攻、東京薬科大学、そして連携医療機関から構成されることです。

連携医療機関は、東京都立駒込病院、癌研究会有明病院、東京都立豊島病院、独立行政法人国立病院機構東京病院、土浦協同病院となっています。

本プランのがん専門医療人養成計画のコースは大きく3つに分かれています。一つは、がん医療に携わる専門医師養成コースで、この中にはがん放射線療法専門医師コース、がん化学療法専門医師コース、がん緩和ケア専門医師コースがあります。二番目のコースは、がん医療に携わる専門のコメディカル養成

コースで、がん看護専門看護師養成コースと医学物理士および放射線治療品質管理士養成コースを設けています。三つ目は、がん医療に携わる専門医師等の研修(インテンシブ)コースで、すでにかん治療に従事している医師の専門分野に対応する養成コースです。



大学病院連携型高度医療人養成推進事業

University Hospitals Collaborative Project to Develop Advanced Medical Specialists

本事業は、複数の大学病院が緊密に連携・協力しそれぞれの得意分野での相互的な補完を図ることで、各病院等を循環しながら修練や幅広い経験を積むことができる医師キャリア形成システムを構築するとともに、大学病院の若手医師に多様なキャリアパスを明確に示すことにより、若手医師が将来に希望を持ちながら安心して研修に専念でき、国民の要請に応えられる質の高い専門医や臨床研究者の養成に貢献することを目的としています。

都会と地方の協調連携による高度医療人養成

「付加価値」を身につけるテーラーメイド研修

取組責任者: 医学部附属病院院長 坂本 徹 教授

東京医科歯科大学・秋田大学・島根大学の医学部は、それぞれ高度先進医療機関である附属病院と豊富な関連病院が一体となって、地域の医療を担う医師を輩出してきました。

この3大学は、平成19年度より広域連携臨床研修プログラムを創設し(初期)臨床研修における連携を既に開始しました。これを踏まえ、新たに専門医および家庭医育成においても連携することとなりました。

3大学が新たに提供する①短期(3ヶ月)および②長期(1年)パッケージ研修を活用することにより、付加価値のある専門医または家庭医になるための研修が可能となります。また、3大学は(社会人)大学院を有し、後期研修の過程で発見した課題を、

研修を継続しつつ研究に昇華・発展させる道も開いており、専門医に加え学位取得も可能です。

■ 各大学の研修医療圏



科学技術振興調整費

[国際共同研究の推進(先進技術を基盤とした地域共通課題解決型共同研究)]

Special Coordination Funds for Promoting Science and Technology

科学技術振興調整費は、科学技術会議の方針に沿って科学技術の振興に必要な重要研究業務の総合推進調整のための経費として、昭和56年度に創設されたもので、各省庁、大学、民間といった既存の研究体制の枠を超えた横断的・総合的な研究開発の推進を主たる目的としています。

鳥インフルエンザ治療薬の国際共同開発研究

研究代表者: 大学院疾患生命科学部 萩原 正敏 教授

ベトナムでは現在も、旧来の日本の農家のように家禽は人家と近接して飼育されているため、ヒトへの感染例もインドネシアと並び世界最多で、高病原性鳥インフルエンザの脅威は現実となりつつある。研究代表者らが東京医科歯科大学で開発した抗ウイルス薬は、宿主細胞の蛋白リン酸化酵素を標的とし、鳥インフルエンザウイルスに対しても効果が期待できるので、両国の研究者が協力して開発を推進し、次世代研究者の組織的交流を促し、最新の創薬技術の普及と研究者育成を図る。

研究代表者は国際医療センターや感染症研究所とも密接な共同研究を行っており、両国の研究機関のネットワークと連携強化が期待される。またハノイ医科大学はベトナム社会主義共和

国医療省と密接な連絡・協議を行っているので、本国際共同研究が実施されればベトナム医療省の全面的な協力を得られる可能性が高い。



ハノイ医科大学での風景

女性研究者への革新的支援

業務責任者: 大山 喬史 学長

女性研究者支援対策会議を組織し、雇用・勤務形態・評価事業、在宅研究事業、研究支援員配備事業、保育に関する事業、交流会、ロールモデル研修、キャリアカウンセリングなどのキャリア支援事業、意識改革事業、性差医学を基盤とした研究・啓発事業、広報事業など11の事業を展開しています。各事業のリーダーは本学メンバーが務めます。女性研究者支援室と女性研究

者支援対策会議で女性研究者支援協議会を形成し、両者の有機的な連携・協力のもとで、多様性のある女性研究者が最大限の力を発揮できる職場環境を構築すべく、活動を行います。

本事業は3年時限のモデル育成事業であり、本学がどのような女性研究者支援が可能なのかへの言わば挑戦でもあります。

東京医科歯科大学 女性研究者支援協議会 活動内容

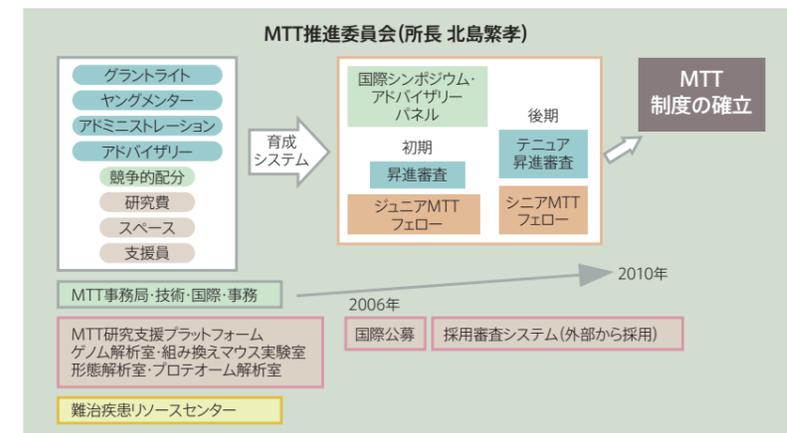


若手研究者の自立的な研究環境整備促進「メディカル・トップトラック(MTT)制度の確立」

研究代表者: 難治疾患研究所長 北嶋 繁孝 教授

難治疾患研究に従事する若手研究者を育成するために、多様かつ優秀な若手研究者をメディカル・トップトラックフェロー(MTTフェロー)として国際公募により採用します。審査結果に応じて、(1)スタートアップファンドの額、(2)博士後研究員の有無、(3)研究スペース配分を決定します。前期の期間中に一定の成果を挙げた一部のジュニアMTTフェローは、後期のシニアMTTフェローの段階に進み、優れた研究成果を挙げたシニア

MTTフェローは、審査の結果に基づいて本研究所のテニュア教員(本研究所の正式職員)に採用される可能性があります。以上のように、本事業のMTTフェローは准教授あるいは助教などのテニュア教員の前段階として位置づけられ、若手の育成と人材の流動化を促進することにより将来のテニュア制度及びテニュア・トラック制度の確立を目指します。若手研究者による自立的・競争研究環境整備の新しいモデルとなることが期待されます。



地球規模課題対応国際科学技術協力事業

Science and Technology Research Partnership for Sustainable Development

本事業は、開発途上国のニーズを基に、地球規模課題を対象とし、将来的な社会実装の構想を有する国際共同研究を政府開発援助(ODA)と連携して推進し、地球規模課題の解決および科学技術水準の向上につながる新たな知見を獲得することを目的としています。

開発途上国のニーズを踏まえた感染症対策研究

ーガーナ由来薬用植物による抗ウイルス及び抗寄生虫活性候補物質の研究ー

取組責任者: 大学院医歯学総合研究科 山岡 昇司 教授

本学はこれまで、野口英世博士を記念して設立された西アフリカのガーナにある野口記念医学研究所に特任教授・准教授を派遣して研究拠点を設立、ウイルス学、寄生虫学の研究を進めてきました。平成21年度からは、科学技術振興機構(JST)と国際協力機構(JICA)による地球規模課題対応国際科学技術協力事業として、ウイルス複製、寄生虫増殖を抑制する薬用植物中の有効成分の研究を開始しました。この研究事業はガーナ側からの強い要請にもとづいて企画され、日本側から本学ウイルス制御学、国際寄生虫学の太田伸生教授、免疫治療学の神奈木真理教授と長崎国際大学薬学部の正山征洋教授の各グループが参加し、ガーナ側の野口記念医学研究所と生薬科学研究セ

ンターの研究グループと感染症治療に有効な生薬有効成分について共同研究を行います。



野口記念医学研究所での協議風景

若手研究者交流支援事業 一東アジア首脳会議参加国からの招へい一

Exchange Program for East Asian Young Researchers

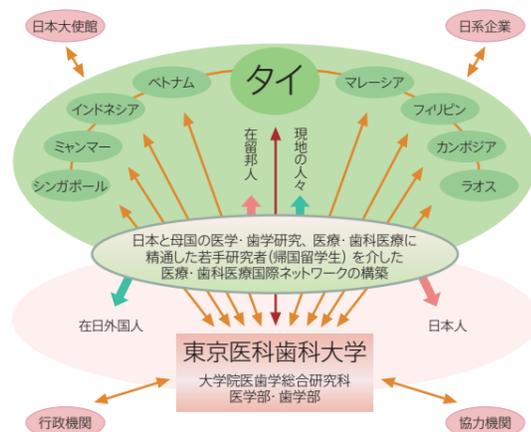
本事業は、我が国の大学等研究機関による計画的な研究者交流を支援することにより、アジアを中心とした国々との研究者間のネットワークの形成・強化、当該地域における高度人材育成及び科学技術コミュニティの形成等を目的としています。

医歯学領域の若手研究者育成事業 一東南アジア国際医療ネットワークの構築一

事業推進責任者：大学院医歯学総合研究科 田上 順次 教授

本事業の目標は、若手研究者の人材育成を行い、日本を中心とした医歯学領域の国際医療ネットワークを東南アジア諸国に構築することです。若手研究者を継続して支援していくことで、保健医療分野の研究の推進、高度専門医療人の育成、医歯学領域の研究・教育・臨床における国際化の推進、教育者・研究者・医療人の国際ネットワークの形成・強化を図ることができます。

本学は数多くの東南アジアの大学と学術交流協定を締結しています。また、東南アジアには、本学で学んだ帰国留学生が多く、医師・歯科医師（病院・診療所・歯科診療所）、大学教員（医歯学教育）、保健省の役人（医療行政）、研究者として現地で活躍しているので、継続した連携をとっていくことが可能です。東南アジア諸国は、医療を取り巻く諸環境（社会経済状況、教育レベル、有病状況、医療システム等）が似ていて、医療ネットワークを形成しやすいと考えられます。



日中韓フォーサイト事業

A3 FORESIGHT PROGRAM

本事業は、我が国と中国・韓国の研究機関が連携して、世界トップレベルの学術研究、地域共通の課題解決に資する研究及び若手研究者の育成を行うことにより、3カ国を中核としてアジアに世界的水準の研究拠点を構築することを目的としています。

胃がん発症におけるエピジェネティック変化の関与

研究代表者：大学院医歯学総合研究科 湯浅 保仁 教授
 中国側研究代表者：北京大学腫瘍学院 Deng Dajun 教授
 韓国側研究代表者：ソウル国立大学医学部 Kim Woo Ho 教授

胃がんは日本・中国・韓国において頻度の高いがんであり、胃のがん化過程には、エピジェネティックな変化（遺伝子そのものには変化は無いが発現が変化する）が重要である。

3カ国の当事業に参加する胃がん研究者が所属する各施設は、研究拠点として既に世界的レベルにある。これらが、交流・共同研究を行うことで、3カ国の多数の胃がん症例におけるエピジェネティックな変化を徹底的に解析して、共通点・違いを明らかにする。疫学的にも3カ国の胃がんの相違点を解析する。これらの共同研究により、胃がんの新たな早期診断、予防、治療法を開発することを目標とする。

以上により、研究拠点としてもさらにレベルをあげることを目指す。



左から湯浅・Kim・Dengの各代表

独創的シーズ展開事業 大学発ベンチャー創出推進

Japan Science and Technology Agency Project to Develop "innovative seeds" Supporting Program for Creating University Ventures

この事業は、大学の独創的シーズを基盤に、ベンチャー企業を創出推進することを目指しています。基礎研究、臨床応用、産学連携を通して、大学の基盤技術を企業に技術移転し、新しい産業の創出、研究成果の社会への還元を目指します。

ディスプレイ、磁気浮上遠心血液ポンプの研究開発

開発代表者：生体材料工学研究所 高谷 節雄 教授

本研究開発は、ミニマム抗凝固剤の使用により、1ヶ月間安全な循環補助が可能な、生体適合性に優れた、ディスプレイ、磁気浮上遠心血液ポンプの技術を基盤に企業を興し、製品化、臨床応用を目指す。本研究は、4大学連合（東京医科歯科大学、東京工業大学、一橋大学、東京外国語大学）の一環として、2004年から、東京医科歯科大学生体材料工学研究所と東京工業大学精密工学研究所の協力で研究開発が進められてきた磁気浮上技術を遠心血液ポンプ技術に応用し、従来のメカニカルベアリング構造を有する血液ポンプの耐久性、生体適合性を改善し、ミニマム抗凝固剤の使用で、最低1ヶ月間は、安全・安心な循環補助を可能とする循環補助デバイスの研究開発を目指す。

研究は、仔牛を用いデバイスの安全性、有効性について評価し、産学連携を通して起業し、国内外での臨床試験を進め、社会への還元を目指す。



仔牛によるポンプシステムの評価風景

イノベーションシステム整備事業(大学等産学官連携自立化促進プログラム)

Project for Developing Innovation Systems(Program for Promoting Self-Sustaining Management of Industry-Academia-Government Collaboration in Universities)

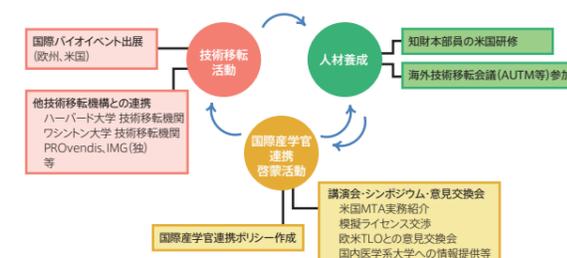
本事業は、国際的な産学官連携体制の強化や国公立大学間連携等による地域の多様な知的財産活動体制の構築など、大学等の活動としては実施のリスクが高く、かつ、国として政策的観点から積極的に促進すべき活動を重点的に支援し、産学官連携活動全体の質の向上を図ることを目的とした事業です。

国際的な産学官連携活動の推進

取組責任者：知的財産本部 飯田 香緒里 特任講師

東京医科歯科大学は知的財産本部を平成15年9月に立ち上げ、その後平成16年4月に国立大学が法人化されてから、大学研究者の発明を本学帰属として出願を開始しました。また、同年8月に知的財産本部内に技術移転センターを設置し、企業への技術移転活動を開始しました。技術移転センターは平成20年3月に承認TLOとして文部科学省・経済産業省の認可を受け、より一層の広報活動を展開し多くの技術移転成果を生み出して

いる。国際産学官連携戦略として、出願する特許の質の向上を図り技術移転活動を効率的に行い、国内外の技術移転機関を活用した活動を展開して、より多くの技術移転を図ります。特に海外はその国情を把握した欧州、米国等複数の連携する海外技術移転機関と定期的に意見交換を行いながら、互いに効率的な技術移転を実施できるようなシステムの構築を目指します。



特別経費

Special Funds

特別経費は新たな教育研究ニーズに対応し各国立大学等の個性や特色に応じた意欲的な取り組み等への支援を目的とします。

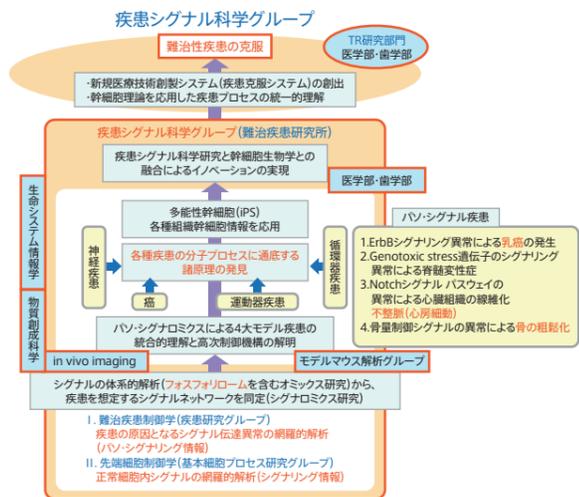
パソ・シグナリングバイオロジー推進研究プログラム

取組責任者: 難治疾患研究所 三木 義男 教授

本プロジェクトでは、病態の発端となる生命体のシグナル異常のことも、“pathogenic signaling”を略しパソ・シグナリングとし、現代の治療困難な疾病の克服を目的として、疾患シグナル研究を推進いたします。具体的には、神経疾患、癌、循環器疾患、運動器疾患をモデルとして疾患プロセス(正常から発病への分子メカニズム)を解明するため、全学の基礎ならびに臨床の研究集団を有機的に結集させ、ゲノム、トランスクリプトームおよびフォスホリローム情報を基軸とした疾患生命科学(パソ・シグナリングバイオロジー)を展開いたしま

す。特に高精度・次世代型の質量分析器を導入し、リン酸化蛋白質情報を収集、フォスフォプロテオミクスに基づいた新しい疾患理解を目指します。

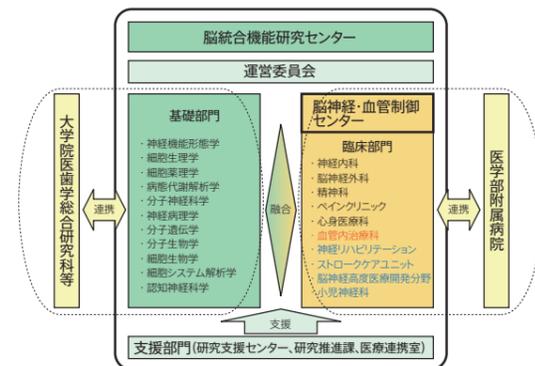
この解析システムは、難治疾患研究所の大学院教育研究支援実験施設の中に設置し、専任の技術者を置くことによって、全学の研究者に使用していただくよう計画しています。さらに、分子間相互作用解析装置を組み合わせ、構造変化に由来する結合タンパクの変化を網羅的に捉えることはシグナル研究においてきわめて重要な解析と考えます。



脳神経・血管制御センターの設立

取組責任者: 脳統合機能研究センター長 水澤 英洋 教授

本学は、脳科学・脳神経疾患領域において、先端を拓く伝統があり、21世紀COEプログラム「脳の機能統合とその失調」の成功を経て「脳統合機能研究センター (Center for Brain Integration Research: CBIR)」を設立、2009年にはその臨床部門としての「脳神経・血管制御センター」が発足した。脳神経・血管制御センターは、世界の脳神経疾患克服のニーズに応えるため、本学における脳神経科学の基盤と新たな戦略を融合的に発展させた、脳・神経・脊髄・精神疾患の高度先進医療の研究・教育を実践する拠点である。



医歯学系大学においてリベラルアーツ教育を保障する教育モデルの形成

取組責任者: 教養部長 千葉 司 教授

この取り組みは、東京医科歯科大学教養部で行っている教養教育をもとにして教養教育の高度化をはかり、医療関係のプロフェッショナルとして次世代のリーダーとなりうる人材の育成を目指すとともに、医歯学系大学の教養教育のモデルを提示することを目的としている。具体的には、

- 1) 英語だけでなく自然科学系科目においてもプレースメントテストを実施して習熟度別クラス編成を拡大し、学習の達成度を学力認定試験により判定して、その後の履修指導に利用する。
- 2) 人文社会系科目では少人数セミナー教育を中心に据え、外

国語科目とともに、読み・書き・発表する能力の高度をはかる。3) 心身の正しい理解に根ざした自己管理能力を獲得させ、他者理解の能力を涵養する。

を実施する。



成績優秀で意欲のある学生は、学会(化学系と生物系)に参加して発表を行なった。

特色ある教育・研究一覧

[社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム]

医師不足、診療科偏在の解消に向けたママさんドクター・リターン支援プログラム

医歯学教育システム研究センター長 奈良 信雄

20-22年度

[ライフサイエンス分野の統合データベース整備事業]

多層階統合医科学データベース構築方式開発

大学院疾患生命科学研究所 田中 博 教授

19-22年度

[大学教育の国際化加速プログラム(国際共同・連携支援(総合戦略型))]

異分野融合型疾患生命科学教育の国際連携

大学院疾患生命科学研究所 田中 博 教授

20-22年度

[特別経費]

センシングバイオロジーにおける基盤技術の戦略的推進事業

生体材料工学研究所 三林 浩二 教授

22年度

ケミカルバイオロジー推進基盤整備事業

大学院疾患生命科学研究所 鈿田 武志 教授

22年度

[質の高い大学教育推進プログラム]

下級生が上級生に教わる歯科臨床体験実習

図書館情報メディア機構長 木下 淳博 教授

20-22年度

医療と造形

大学院医歯学総合研究科 三浦 宏之 教授

20-22年度

[大学院教育改革支援プログラム]

歯科医学における基礎・臨床ボードレス教育

大学院医歯学総合研究科 森田 育男 教授

20-22年度

看護学国際人育成教育プログラム

大学院保健衛生学研究科 佐々木 明子 教授

20-22年度

[戦略的創造研究事業 JST(CREST)]

新たなアレルギー発症機構の解明とその制御

大学院医歯学総合研究科 鳥山 一 教授

21-25年度

シナプス-グリア-D-セリン系の分子機構解明と統合失調症における病態解析および修復法創出

大学院医歯学総合研究科 西川 徹 教授

21-23年度

[戦略的創造研究事業 JST(CREST)]

プルキンエ細胞変性の分子病態に基づく診断・治療の開発

大学院医歯学総合研究科 水澤 英洋 教授

21-23年度

[戦略的創造研究推進事業 (ERATO)]

高柳オステオネットワークプロジェクト

大学院医歯学総合研究科 高柳 広 教授

21-26年度

国際交流

International Exchange

2009年4月1日、本学ではこれまでの「留学生センター」を改組し、新たに「国際交流センター」をスタートさせました。これまででも、多くの学術・学生交流協定が締結されてきましたが、それらは各部署単位で実施されていたためトータルな情報把握が十分ではない点もあり、本学の国際交流を一括して管理することを始めました。本学の理解があり、母国の医療界で活躍している留学生との繋がりは、本学にとって貴重な財産です。しかし、残念ながら帰国留学生との連絡が途絶えているケースがあります。そこで今後は、留学生に関するデータを一括管理し、彼らとの交流を継続させることによって、本学の国際化推進の

サポーターと位置づけ彼らから本学の教育研究における課題を学び、教育研究のさらなる向上を図ります。また、これからは留学生が来るのを待つだけでなく、世界中から優秀な人材を積極的に獲得することも必要です。そのために新たな試みとして、国際サマープログラムを開催しました。留学前に十分な情報を与えられ留学してきた学生は満足度も高いため、事前の情報提供や適切な受入分野への橋渡し、留学中の相談サービス、留学後のフォローとさらに一貫した支援システムの構築をすすめます。「世界の東京医科歯科大学」として、新たな挑戦をする「国際交流センター」に学内外から大きな期待が寄せられています。

ガーナ拠点形成

新興・再興感染症研究のフロンティア

Ghana-Tokyo Medical and Dental University Research collaboration program

野口記念医学研究所(野口研)における新興・再興感染症の研究活動が始まりました。野口研は西アフリカにおける先端研究施設の一つであり、この地域の医学研究の中核を担っています。具体的な研究内容として、ウイルス学の分野では、HIVの治療薬の効果に関する共同研究を進めており、WHOが欧米先進諸国の基準で策定したガイドラインをアフリカへ適用することが

適切であるか、AIDS治療薬に対する耐性ウイルスの蔓延状況などを検証しています。一方、寄生虫学の分野では、西アフリカ地域の寄生虫病の疫学データベース整備や新規治療薬開発の基礎研究に取り組んでいます。これまでの蓄積データを活用しながら、世界中の研究者がアクセス可能なデータベース整備をめざしています。



ローンチセレモニー



学長主催晩餐会にて、(左から)森口文部科学審議官、ポール・ボアチガーナ教育省副大臣、片上特命全権大使、C.N.B. テーゴガーナ大学副学長、大山学長

チリ国家プロジェクト

チリ国家プロジェクトへの参画

Latin American Collaborative Research Center, Santiago, Chile

大腸癌死亡率の急激な増加に悩むチリ国の国家的問題に取り組むクリニカ・ラス・コンデス(チリ国病院)と、大腸癌に関する臨床・科学・学術協力で協力体制を構築するため協議し、2009年7月15日チリ国保健省並びにクリニカ・ラス・コンデスと協定を締結しました。

さらに、中南米地域において広く教育・研究・国際貢献を展開する目的で2010年4月、チリに研究拠点を開設しました。

当該研究拠点での活動の第一の目的は、チリ国及び中南米諸国における大腸癌死亡率低下にあります。本学は15年間にわたり中南米諸国に「大腸癌早期発見と診断・治療法」の普及に努めた経験があり、チリ国最先端病院であるクリニカ・ラス・コンデスが今後五カ年で計画している集団検診プログラム「早期大腸癌診断と治療」に対する指導・教育・研究に協力します。第二の目的は、集団検診を通じて得た研究試料及び新たな研究課題等について、早期癌病理組織診断等の臨床研究から、遺伝子解析といった基礎医学研究をも含めた横断的な研究を行い、癌研究の更なる発展を目指しています。



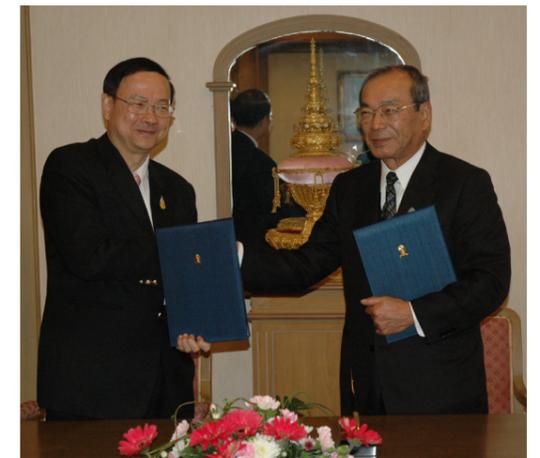
協定書に調印する大山 喬史学長(左)、Sr. Alfredo Schonherr【CLCのCEO】(中央)、Dr. Julio Montt Vidal, Ministry of Health, Undersecretary of Health Care Networks【チリ国保健省ヘルスケアネットワーク課次官】(右)

タイとの国際交流

チュラロンコン大学-東京医科歯科大学研究教育協力センター

CU-TMDU Research and Education Collaboration Center

1991年に本学と東南アジアで中心的な役割を担うタイ・バンコクのチュラロンコン大学の歯学部間で学術交流協定を締結して以来、歯科領域のほぼ全ての分野で交流が行われています。近年では、当初留学生として来日した歯科医師は帰国後に指導者となり、次世代を養成して、彼らがまた本学に留学を希望する、という流れができてきました。現在、本学では、母国で研究者や指導者として活躍する彼らとの連携を強化していくこと、すなわち帰国留学生を介した「国際医療ネットワークの構築」を目指しています。2009年11月には、チュラロンコン大学内に「チュラロンコン大学-東京医科歯科大学研究教育協力センター」を設置しました。同センターでは、研究・教育の交流拠点として、また、留学生等の選抜の場として、さらには、歯科だけでなく医科の取り組みへと拡大、活用できる帰国留学生ネットワークによる東南アジア拠点形成の実現に向けて取り組んでいます。



調印式にて握手を交わす医歯大・大山学長(右)とチュラロンコン大学・ピロム学長(左)

世界トップレベルの医師、歯科医師、コ・メディカル・スタッフを育成

パートナーズ・ハーバード・メディカル・インターナショナルとの医学教育提携

Tokyo Medical and Dental University and Partners Harvard Medical International, Inc.
Alliance for Medical Education

本学では、平成14年度にHMI(ハーバード・メディカル・インターナショナル、平成20年からPHMI/パートナーズ・ハーバード・メディカル・インターナショナル)との医学教育提携契約を締結しました。この提携は、世界トップレベルの医師、歯科医師、コ・メディカル・スタッフを育成するとともに、世界をリードする医学・歯学研究者を養成することを目標としています。

現在、世界最先端の医学教育方法の研究及び研修のために、ハーバード大学教員を本学へ招聘するばかりでなく、多数の本学教員をハーバード大学に派遣し、教育研修を実施し、着実に成果を上げています。

また、この教育連携の大きな特色としては、本学医学部医学科の正規のカリキュラムとして、「ハーバード大学の学生と共に学ぶ臨床実習」が選択コースとして設定されており、年々充実を図り、過去6年間で40名の学生が参加し、大きな成果を上げています。

更には、本提携の高い評価により、平成17年度には、特別教育研究経費「国際性豊かな医療人・世界的競争に打ち勝つことのできる研究者の養成」が措置され、カリキュラム改革等の推進に積極的に取り組んでいます。

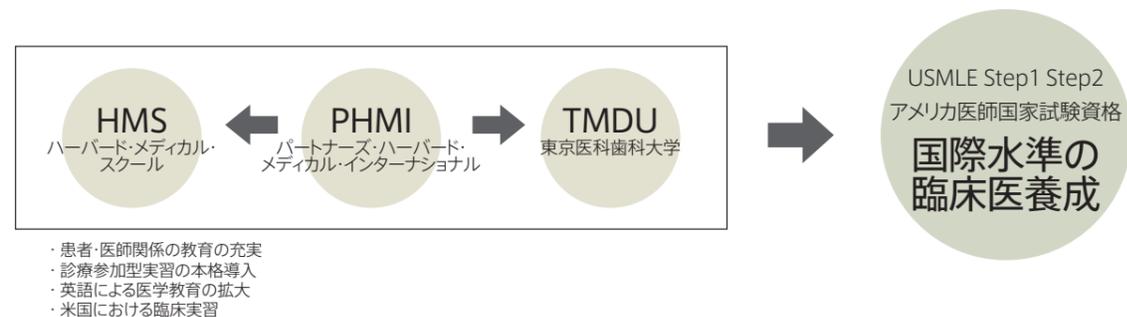
また、本年度、PHMIとの教育提携が8周年を迎えました。本提携は広範囲におよび、学生派遣(6年次3ヶ月の臨床実習、

来年度8名予定)のほか、下記のような活動を行っています。

- ①テレビ会議
(カリキュラム改革案についてテレビ会議システムを利用して米国PHMIと協議を継続し、その実施経過を逐次検討)、
- ②教育リーダー派遣調査および協議
(平成14年6月2名、同年12月14名、16年2月14名、17年4月14名、18年9名、19年10名、21年16名、22年2月17名(内訳 延べ 医学部77名、歯学部16名、教養部3名、期間5-10日間))、
- および
- ③HMS教員を招聘した教員研修会
(全学規模で平成12年より5回、医学科のみ平成13年より12回延べ1176人参加)が実施されています。

このような多段階、多様な提携の結果、本学のカリキュラムは様変わりし、最終段階としてクリニカルクラークシップの改変が今始まっています。この改革には、ハーバードに派遣された教員のみならず学生、その後本学の研修医となっている卒業生の意見を反映させながら、英米では長い歴史を持つものが国では形式に止まっている診療チームの一翼を担う臨床実習の「真の実現」を目指し準備が進められています。

■概念図



世界トップレベルの医師を育成するために

インペリアルカレッジとの交換留学プログラム

Student exchange programme between Faculty of Medicine, Graduate School, Tokyo Medical and Dental University and Faculty of Medicine, Imperial College of Science Technology and Medicine

本学では、平成16年度にインペリアルカレッジとの交換留学プログラムを開始しました。本プログラムは、交換留学協定に基づく留学のため、単位は互換であり、双方の授業料は免除され、宿泊施設も提供されます。学生は留学生活においてインペリアルの学生や教員、研究者からきめ細やかなサポートを受けることができます。本プログラムを開始してから6年余りになりますが、貴重な体験が得られるという評価が定着し、双方の大学において人気プログラムとなっています。

インペリアルカレッジはロンドンのサウスケンジントンにある大学です。1907年に創設の医学部、工学部、生命科学部、物理学部の4学部で構成されており、これに加えてビジネススクールも併設されています。英国内での大学ランキングでは3位(時に2位あるいは4位のこともある)、全世界でもトップ10の常連に位置する非常に優秀な大学です。

【留学状況】

①本学からインペリアルカレッジへの留学
医学科4年生のプロジェクトセメスターの期間(10月～2月末)、毎年4名程度延べ19名が留学しています。具体的には、インペリアルカレッジから本学学生のために用意された12～24程度の研究課題の中から興味のある課題を選択し、指導教員の下、実際の医学研究に従事します。今年度に関しては過去の学生の

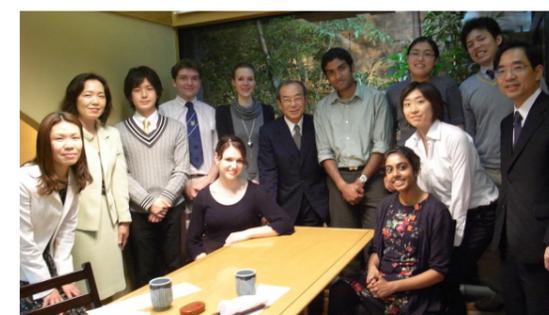
希望を活かし1～4箇所の関連病院見学、およびプロジェクトに関連した10ほどの講義をインペリアルカレッジの学生と聴講する機会が予定されています。リサーチの基本的な考え方、必要な情報の集め方、論理的・科学的思考など学問に対するアプローチが修得できること、そして異なるバックグラウンドを持つ指導教員や研究室のメンバーとの関係の構築、および英語による筋道だった議論・論述能力の養成など日本にはなかなか得られない経験ができるまたとない機会となっています。

②インペリアルカレッジから本学への留学

インペリアルカレッジではカリキュラムの一環として3ヶ月間の研究期間が設けられており、その研究プロジェクトの1つに本交換留学プログラムもあります。実績としてはBScコースの一環として医学部4年生が2月中旬より3ヶ月に渡り、毎年4名程度、延べ24名を受け入れています。インペリアルカレッジの学生も本学の医歯学総合研究科の約20分野が各々1～3課題ずつ提供する研究課題の中から興味のある課題を選択して医学研究に従事することになります。インペリアルの学生にとっては本プロジェクト内において研究活動の技術を学ぶだけでなく、お花見や古都巡り等様々な日本文化に囲まれた非常に充実した体験プログラムとして人気を集めています。



インペリアルカレッジ



上：大山学長と平成21年度派遣・受入学生/下右：平成17年度派遣学生研究室にて/下左：平成21年度受入学生研究室にて

統計

Statistics

職員数

平成22年5月1日現在 (May 1, 2010)

区分	役員	教員				小計	その他職員				小計	計	
		教授	准教授	講師	助教		一般職	薬剤師 放射線技師 検査技師等	看護師	小計			
学長	1											1	
理事	5											5	
監事	2 (1)											2 (1)	
事務局							173				173	173	
大学院医歯学総合研究科		78	51	34	145	308						308	
大学院保健衛生学研究科		16	6	4	14	40						40	
大学院疾患生命科学部		7	5		1	13						13	
医学部							63	7			70	70	
医学部附属病院		1	7	30	98	136	4	110	684		798	934	
歯学部		5	2	5		12	28	4			32	44	
歯学部附属病院			4	12	22	38	1	51	55		107	145	
歯学部附属歯科技工士学校				4		4						4	
教養部		9	11		2	22	4				4	26	
生体材料工学研究所		9	6	1	11	27	7				7	34	
難治疾患研究所		16	17	1	20	54	11				11	65	
図書館情報メディア機構		1			1	2						2	
歯学研究支援センター		1	2	1	2	6	2				2	8	
実験動物センター		1			1	2						2	
国際交流センター			4			4						4	
保健管理センター		1	1			2			1	1		3	
歯学部教育システム研究センター		2	1	1		4						4	
脳統合機能研究センター			2			2						2	
生命倫理研究センター		1				1						1	
職員数	8 (1)	148	119	93	317	677	293	172	740	1205	1890 (1)		

※ ()内は非常勤役員を内数で示す。

学生数 | 大学院

平成22年5月1日現在 (May 1, 2010)

医歯学総合研究科

専攻	入学定員	収容定員	修士課程			博士課程					計									
			第1	第2	小計	第1	第2	第3	第4	小計										
医歯科学(一般コース)	50	100	51	28	52	38	103	66				103	66							
医歯科学(MMAコース)	15	25	18	6	11	10	29	16				29	16							
口腔機能再構築学系	42	168					64	29	57	27	50	25	48	20	219	101	219	101		
顎顔面頸部機能再建学系	30	120					27	6	28	9	30	11	34	7	119	33	119	33		
生体支持組織学系	18	72					16	8	21	8	13	6	12	4	62	26	62	26		
環境社会歯科学系	20	80					18	9	18	7	17	7	39	18	92	41	92	41		
老化制御学系	10	40					15	7	17	7	15	5	23	6	70	25	70	25		
全人的医療開発学系	8	32					11	7	1	1	6	3	17	10	35	21	35	21		
認知行動医学系	19	76					16	6	13	6	17	3	23	4	69	19	69	19		
生体環境応答学系	17	68					17	4	12	7	11	6	15	7	55	24	55	24		
器官システム制御学系	29	116					36	9	32	4	36	9	39	11	143	33	143	33		
先端医療開発学系	21	84					15	6	27	7	26	8	49	20	117	41	117	41		
小計	279	981	69	34	63	48	132	82	235	91	226	83	221	83	299	107	981	364	1,113	446

保健衛生学研究科

専攻	入学定員	収容定員	博士(前期)課程			博士(後期)課程					計								
			第1	第2	小計	第1	第2	第3	第4	小計									
総合保健看護学	前期 17 後期 8	前期 34 後期 24	17	15	25	22	42	37	12	11	12	11	29	29		53	51	95	88
生体検査科学	前期 12 後期 6	前期 24 後期 18	14	6	16	14	30	20	5	3	2	2	11	8		18	13	48	33
小計	前期 29 後期 14	前期 58 後期 42	31	21	41	36	72	57	17	14	14	13	40	37		71	64	143	121

生命情報科学教育部

専攻	入学定員	収容定員	博士(前期)課程			博士(後期)課程					計								
			第1	第2	小計	第1	第2	第3	第4	小計									
バイオ情報学	前期 21 後期 8	前期 42 後期 24	22	9	28	14	50	23	4	0	10	5	14	4		28	9	78	32
高次生命科学	前期 24 後期 7	前期 48 後期 21	26	8	22	5	48	13	11	6	8	4	8	5		27	15	75	28
小計	前期 45 後期 15	前期 90 後期 45	48	17	50	19	98	36	15	6	18	9	22	9		55	24	153	60

合計 (修士課程・博士課程)	入学定員	収容定員	修士課程			博士課程					計									
			第1	第2	小計	第1	第2	第3	第4	小計										
	279	981	69	34	63	48	132	82	235	91	226	83	221	83	299	107	981	364	1,113	446
合計 (博士前期・博士後期)	入学定員	収容定員	博士(前期)課程			博士(後期)課程					計									
			第1	第2	小計	第1	第2	第3	第4	小計										
	103	235	79	38	91	55	170	93	32	20	32	22	62	46		126	88	296	181	

※注1 赤色は、女子学生を内数で示す。 ※注2 < >内は、先端口腔科学国際プログラム学生を内数で示す。

※注3 []内は、パブリックヘルスリーダー養成特別コース学生を内数で示す。

※注4 ()内は、生命情報科学国際教育プログラム学生を内数で示す。

総計 1,409 <23> [18] (20) 627

学生数 | 学部

平成22年5月1日現在 (May 1, 2010)

医学部

	入学定員	収容定員	第1	第2	第3	第4	第5	第6	計
医学科	95 <5>	500	95 32	87 28	85 [6] 29 [11]	88 [5] 15 [6]	90 [7] 25 [3]	85 [4] 24 [3]	530 [22] 153 [13]
保健衛生学科	看護学専攻	215	60 55	56 54	55 [6] 53 [11]	48 [5] 46 [6]			219 208
	検査技術学専攻	135	37 30	35 27	35 [6] 30 [6]	33 [6] 23 [6]			140 110
	小計	350	97 85	91 81	90 [6] 83 [11]	81 [5] 69 [6]			359 318

歯学部

	入学定員	収容定員	第1	第2	第3	第4	第5	第6	計
歯学科	55 <10>	370	55 20	59 25	62 [9] 29 [4]	67 [8] 30 [6]	67 [12] 33 [10]	59 [9] 23 [6]	369 [38] 160 [26]
口腔保健学科	27 <6>	118	29 28	36 36	30 [6] 28 [6]	27 [6] 25 [6]			122 [12] 117 [12]

合計	入学定員	収容定員	第1	第2	第3	第4	第5	第6	計
	267	1,338	276 165	273 170	267 [21] 169 [11]	263 [19] 139 [18]	157 [19] 58 [13]	144 [13] 47 [9]	1,380 [72] 748 [51]

※注1 赤色は、女子学生を内数で示す。
 ※注2 < >内は、3年次編入学定員を外数で示す。
 ※注3 []内は、3年次編入学生を内数で示す。

専攻生

区分	男	女	計	
医学部	医学科	12	11	23
	保健衛生学科	4	15	19
歯学部	歯学科	101	97	198
	口腔保健学科	2	1	3
生体材料工学研究所	3	1	4	
難治疾患研究所	5	3	8	
合計	127	128	255	

学位授与数

平成22年5月1日現在 (May 1, 2010)

課程博士

区分	博士						
	医学	歯学	学術	看護学	保健学	理学	バイオ情報学
平成21年度	99	89	8	7	9	15	0
累計	1,632	1,906	115	74	44	42	1

論文博士

区分	博士				
	医学	歯学	学術	看護学	保健学
平成21年度	20	9	2	0	4
累計	1,713	484	21	10	12

課程修士

区分	修士									
	医科学	歯科学	医療管理学	医療政策学	看護学	保健学	理学	生命情報科学	バイオ情報学	学術
平成21年度	29	1	8	8	17	12	36	0	2	0
累計	273	7	53	51	240	205	178	5	3	1

附属教育施設

平成22年5月1日現在 (May 1, 2010)

生徒数

学校	学年		計
	第1	第2	
歯科技工士学校	21 (10)	20 (10)	41 (20)
歯科技工士学校 (実習科)	10 (6)	10 (6)	20 (12)
計	31 (16)	30 (16)	61 (31)

※注1 赤色は、女子学生を内数で示す。

平成22年度科学研究費補助金採択状況

平成 22 年 5 月 1 日現在 (May 1, 2010)

研究種目	件数	金額(千円)
特定領域研究 Grant-in-Aid for Scientific Research on Priority Areas	11	106,800
挑戦的萌芽研究 Grant-in-Aid for Challenging Exploratory Research	38	50,000
若手研究(A) Grant-in-Aid for Young Scientists(A)	6	41,600
若手研究(B) Grant-in-Aid for Young Scientists(B)	136	223,990
特別研究員奨励費 Grant-in-Aid for JSPS Fellows	42	31,400
基盤研究(S) Grant-in-Aid for Scientific Research(S)	1	21,450
基盤研究(A) Grant-in-Aid for Scientific Research(A)	20	276,250
基盤研究(B) Grant-in-Aid for Scientific Research(B)	49	259,480
基盤研究(C) Grant-in-Aid for Scientific Research(C)	144	210,860
学術創成研究費 Grant-in-Aid for Creative Scientific Research	1	75,530
研究活動スタート支援 Grant-in-Aid for Research Activity Start-up	9	10,972
若手研究(S) Grant-in-Aid for Young Scientists(S)	2	30,030
新学術領域研究 Grant-in-Aid for Scientific Research on Innovative Areas	11	106,730
奨励研究 Grant-in-Aid for Encouragement of Scientists	3	1,690
合計 Total	473	1,446,782

受託研究費等受入状況 (平成21年度)

外部資金区分(受託事業を含む)	件数	金額(千円)
受託(委託)研究費(うち複数年契約によるもの) Entrusted Research	121(29)	1,158,447(198,471)
共同研究費(うち複数年契約によるもの) Cooperative Research	120(71)	424,606(279,304)
奨学寄附金 Donation for Promotion of Learning	789	1,261,019
合計 Total	1,030	2,844,072

※複数年度契約とは、研究期間が平成 20 年度を含み、2 年度以上にまたがるものであり、当該 20 年度に受け入れた金額 (件数も 1 件としてカウント) を積算したものを示す。

平成22年度厚生労働科学研究費補助金採択状況

平成 22 年 5 月 1 日現在 (May 1, 2010)

研究種目	件数	金額(千円)
政策科学総合研究(政策科学推進研究) Research on Policy Planning and Evaluation	2	43,200
政策科学総合研究(統計情報総合研究) Research on Statistics and Information	1	3,000
再生医療実用化研究 Research on Regenerative Medicine for Clinical Application	2	97,500
創薬基盤推進研究(政策創薬総合研究) Research on Publicly Essential Drugs and Medical Devices	1	4,000
難治性疾患克服研究 Research on Measures for Intractable Diseases	9	319,400
長寿科学総合研究 Comprehensive Research on Aging and Health	1	28,500
障害者対策総合研究 Comprehensive Research on Disability Health and Welfare	3	52,200
エイズ対策研究 Research on HIV/AIDS	2	12,360
肝炎等克服緊急対策研究 Research on Hepatitis	1	110,500
地域医療基盤開発推進研究 Research on Region Medical	7	47,883
医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究 Research on Regulatory Science of Pharmaceuticals and Medical Devices	2	11,000
健康安全・危機管理対策総合研究 Research on Health Security Control	1	5,400
合計 Total	32	734,943

寄附講座・寄附研究部門一覧

平成 22 年 5 月 1 日現在 (May 1, 2010)

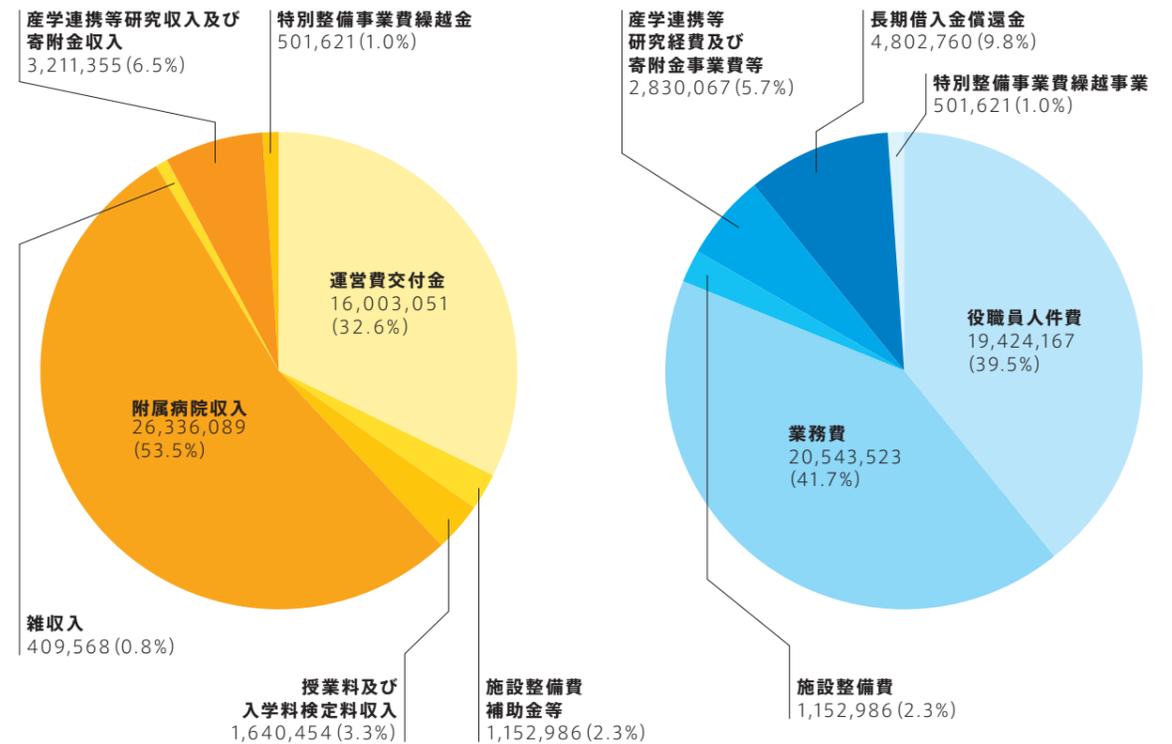
所属部署名	寄附講座名・寄附研究部門名	設置期間	寄附者
大学院医歯学総合研究科	薬害監視学講座	H17.4.1 - H25.3.31	田辺三菱製薬(株)／ワイス(株)／武田薬品工業(株)／アボットジャパン(株)／エーザイ(株)／中外製薬(株)／プリストルマイヤーズ(株)
大学院医歯学総合研究科	ナノメディスン(DNP)講座	H17.4.1 - H25.3.31	大日本印刷(株)
大学院医歯学総合研究科	応用腫瘍学講座	H17.10.1 - H23.9.30	大鵬薬品工業(株)
大学院医歯学総合研究科	分子肝炎制御学講座	H18.4.1 - H24.3.31	シェリング・プラウ(株)
大学院医歯学総合研究科	消化管先端治療学講座	H19.4.1 - H27.3.31	杏林製薬(株)／旭化成メディカル(株)／味の素ファルマ(株)／ユーシービージャパン(株)／大塚製薬(株)／エーザイ(株)／(株)JIMRO／ゼリア新薬工業(株)／田辺三菱製薬(株)／アボットジャパン(株)／協和発酵キリン(株)
大学院医歯学総合研究科	整形外科先端治療開発学講座	H19.8.1 - H23.3.31	HOYA(株)／メドトロニックソファモアダネック(株)／日本ストライカー(株)／(株)イトー医科器械／帝人ファーマ(株)
大学院医歯学総合研究科	血管病先進制御学講座	H19.6.1 - H22.5.31	田辺三菱製薬(株)
大学院医歯学総合研究科	軟骨再生学講座	H18.6.1 - H24.5.31	ジンマー(株)／日本メディカルマテリアル(株)
大学院医歯学総合研究科	睡眠制御学講座	H21.6.1 - H24.5.31	フクダ電子(株)／帝人在宅医療(株)／グラクソ・スミスクライン(株)／フィリップス・レスピロニクス(株)
大学院疾患生命科学研究所	オミックス医療情報学講座	H21.10.1 - H24.9.30	(株)オーエスジャパン／(株)マイクロブラッドサイエンス
大学院医歯学総合研究科	小児・周産期地域医療学講座	H22.4.1 - H26.3.31	茨城県
大学院医歯学総合研究科	東京医科歯科大学地域小児医療調査研究講座(東京都)	H22.4.1 - H25.3.31	東京都
大学院医歯学総合研究科	慢性腎臓病病態治療学講座	H22.4.1 - H25.3.31	中外製薬(株)

平成22年度収入・支出予算

単位：千円

収入 総額 49,255,124 千円

支出 総額 49,255,124 千円



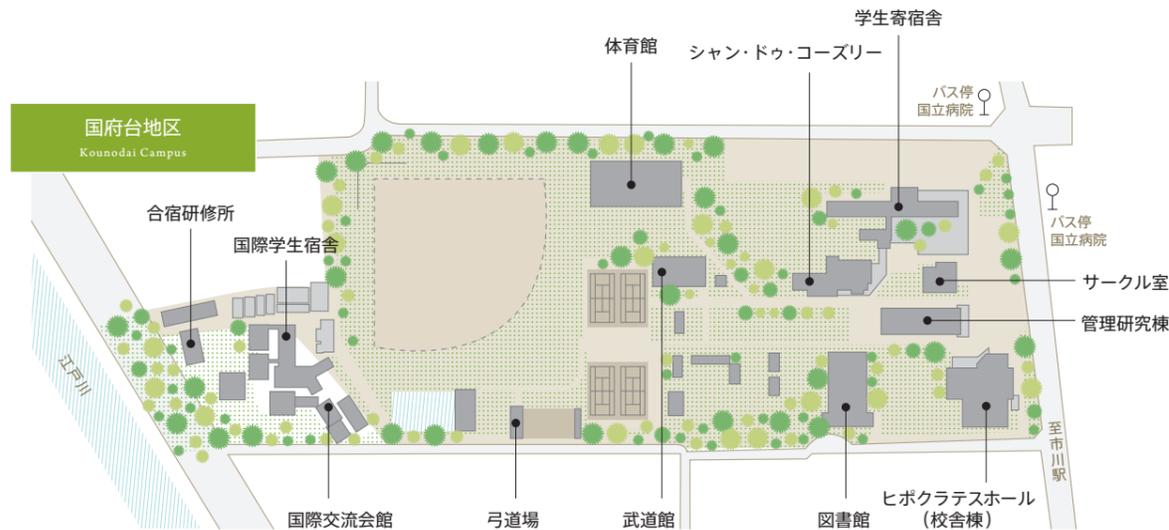
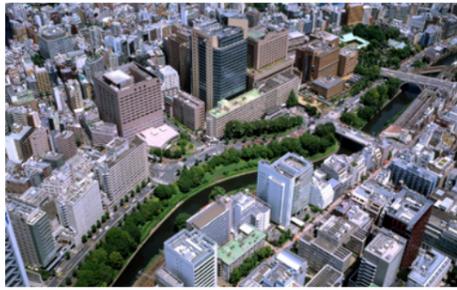
キャンパス概要

Campus and Access

湯島地区・駿河台地区

Yushima and Surugadai Campuses

東京都心の歴史ある地域に広がる湯島・駿河台地区。研究棟や附属病院が立ち並ぶキャンパスで、高度な知識と技術を持つ医療人を養成するための専門教育が行われます。



国府台地区

Kounodai Campus

すべての学生にとって最初の学舎となる教養部がおかれている国府台地区。東京都に隣接する千葉県市川市にあり、湯島・駿河台地区にも約40分でアクセスできます。



土地・建物及び所在地

平成 22 年 5 月 1 日現在 (May 1, 2010)

湯島地区 Yushima Campus	土地 : 45,115㎡ Grounds(sq. Metre)	建物 : 265,623㎡ Buildings(sq. Metre)
名称 Name	郵便番号・所在地・電話番号 Zip code / Address / Telephone	
事務局 Administration Bureau / 大学院医歯学総合研究科 Graduate School of Medical and Dental Sciences / 大学院保健衛生学研究科 Graduate School of Health Care Sciences / 大学院生命情報科学教育部 Biomedical Science PhD Program / 大学院疾患生命科学研究所 Graduate School of Biomedical Science	〒113-8510 東京都文京区湯島1-5-45 5-45, Yushima 1 chome, Bunkyo-ku, Tokyo 03-3813-6111	
医学部 Faculty of Medicine / 医学部附属病院 University Hospital of Medicine /	〒113-8519 東京都文京区湯島1-5-45 5-45, Yushima 1 chome, Bunkyo-ku, Tokyo 03-3813-6111	
歯学部 Faculty of Dentistry / 歯学部附属病院 University Hospital of Dentistry /	〒113-8549 東京都文京区湯島1-5-45 5-45, Yushima 1 chome, Bunkyo-ku, Tokyo 03-3813-6111	
図書館情報メディア機構図書館 Institute for Library and Media information Technology-Library / 医歯学教育システム研究センター Center for Education Research in Medicine and Dentistry / 医歯学研究支援センター Research Center for Medical and Dental Sciences / 実験動物センター Center for Experimental Animal / 生命倫理研究センター Life Sciences and Bioethics Research Center / 医歯学融合教育支援センター Center for Interprofessional Education / 保健管理センター Health Service Center / スチューデントセンター Student Center / 知的財産本部 Intellectual Property Division	〒113-8510 東京都文京区湯島1-5-45 5-45, Yushima 1 chome, Bunkyo-ku, Tokyo 03-3813-6111	
歯学部附属歯科技工士学校 School for Dental Technologists	〒113-8549 東京都文京区湯島1-5-45 5-45, Yushima 1 chome, Bunkyo-ku, Tokyo 03-3813-6111	

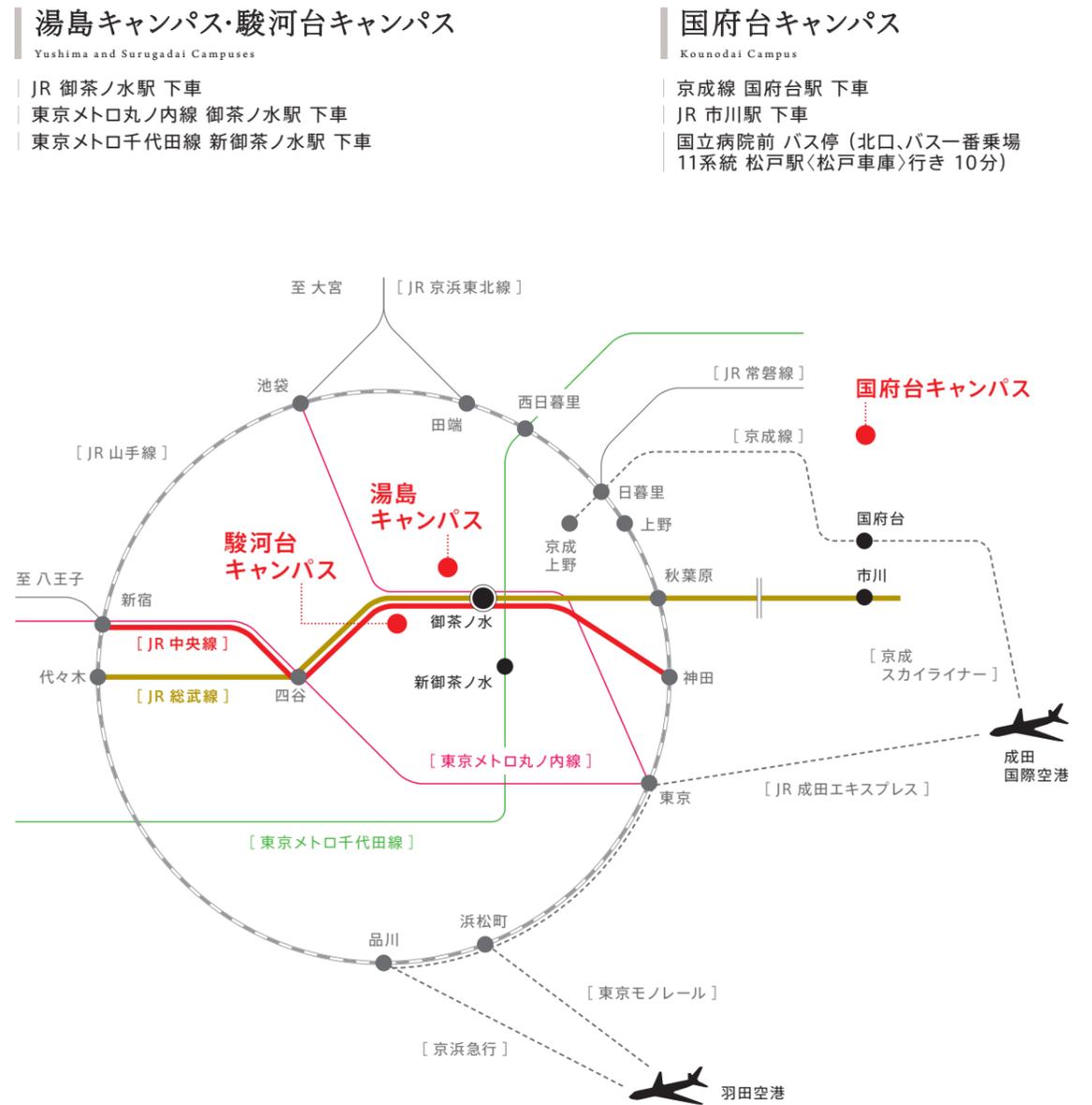
駿河台地区 Surugadai Campus	(1) 土地 : 546㎡ Grounds(sq. Metre)	建物 : 1,884㎡ Buildings(sq. Metre)	(2) 土地 : 5,051㎡ Grounds(sq. Metre)	建物 : 18,028㎡ Buildings(sq. Metre)
名称 Name	郵便番号・所在地・電話番号 Zip code / Address / Telephone			
国際交流センター International Exchange Center (1)	〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-3-21 3-21, Kanda Surugadai 2 chome, Chiyoda-ku, Tokyo 03-5283-5855			
生体材料工学研究所 Institute of Biomaterials and Bioengineering (2)	〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-3-10 3-10, Kanda Surugadai 2 chome, Chiyoda-ku, Tokyo 03-5280-8000			
難治疾患研究所 Medical Research Institute (2)	〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-3-10 3-10, Kanda Surugadai 2 chome, Chiyoda-ku, Tokyo 03-5280-8050			

国府台地区 Kounodai Campus	土地 : 61,287㎡ Grounds(sq. Metre)	建物 : 13,900㎡ Buildings(sq. Metre)
名称 Name	郵便番号・所在地・電話番号 Zip code / Address / Telephone	
教養部 College of Liberal Arts and Sciences / 図書館情報メディア機構図書館国府台分館 Institute for Library and Media information Technology-Kounodai Branch Library / 保健管理センター分室 Health Service Center, Kounodai Branch	〒272-0827 千葉県市川市国府台2-8-30 8-30, Kounodai 2 chome, Ichikawa-city, Chiba Prefecture 047-371-7103	
国際交流会館 International House / 国際学生宿舎 International Student House	〒272-0827 千葉県市川市国府台2-8-1 8-1, Kounodai 2 chome, Ichikawa-city, Chiba Prefecture 047-371-7936	

名称 Name	所在地 Address	土地 Grounds(sq. Metre)	建物 Buildings(sq. Metre)
戸田地区 Toda Boat-House	埼玉県戸田市戸田公園1-60/60, Todakoen 1 chome, Toda-city, Saitama Prefecture	696 ㎡	479 ㎡
妙高高原地区 Akakura Resort House	新潟県妙高市赤倉温泉/Akakura-Onsen, Myoko-city, Niigata Prefecture	1,621 ㎡	434 ㎡
館山地区 Tateyama. Oga-Resort House	千葉県館山市大賀/Oga, Tateyama-city, Chiba Prefecture	4,357 ㎡	834 ㎡
白山宿舎 Hakusan Residence Housing	東京都文京区白山2-36-3/36-3, Hakusan 2 chome, Bunkyo-ku, Tokyo	497 ㎡	91 ㎡
若宮町宿舎 Wakamiyacho Residence Housing	東京都新宿区若宮町26/26, Wakamiya-cho, Shinjuku-ku, Tokyo	995 ㎡	—
塔の山住宅 Tonoyama Residence Housing	東京都中野区中央1-50-3/50-3, Chuo 1 chome, Nakano-ku, Tokyo	1,974 ㎡	1,945 ㎡
越中島住宅 Etchujima Residence Housing	東京都江東区越中島1-3/3, Etchujima 1 chome, Koto-ku, Tokyo	17,967 ㎡	25,480 ㎡
納骨堂 The Ossuary (Nokotsu-do)	千葉県市川市国府台3-10-1/10-1, Kounodai 3 chome, Ichikawa-city, Chiba Prefecture	(115 ㎡)	—
計 Total		140,106 ㎡ (115 ㎡)	328,698 ㎡

※ (注) 土地・建物の () 内数字は、借用又は一時使用面積を外数で示す。

関係施設位置図



成田国際空港より

From Narita Airport

- JR 成田エクスプレス→JR 東京駅→JR 中央線→JR 御茶ノ水駅

- 京成スカイライナー→JR 上野駅→JR 山手線→JR 秋葉原駅→JR 総武線→JR 御茶ノ水駅

羽田空港より

From Haneda Airport

- 東京モノレール→JR 浜松町駅→JR 山手線→JR 御茶ノ水駅

- 京浜急行→JR 品川駅→JR 山手線→JR 神田駅→JR 中央線→JR 御茶ノ水駅